

六

嘉慶拾九年より式拾壹年迄

御三代伊江親方日々記



一 元日、早朝御靈前江御茶湯上、御燒香仕候事、
 一 弁才天・觀音御前江參錢三文完差上
 御拜仕候事、
 一 宜壽次・仲村御靈前江御燒香御拜仕候事、
 一 三日、節句ニ付朝御茶湯御靈供上、御燒香
 仕候事、
 一 同日、祖母様正御月忌ニ付、晚御靈供上、御燒香
 仕候事、
 一 同日、私歳日ニ而輕く相祝候事、
 一 上下やしき中其外女子、豊見城親雲上

咸豐拾壹年辛酉十月写

本書落冊虫
切廢等八除

嘉慶拾九年より式拾壹年迄戌亥子

御三代伊江親方日々記共七冊

川平殿内

嘉慶十九年甲戌

正月申

一 元日、早朝御靈前江御茶湯上、御燒香仕候事、

一 弁才天・觀音御前江參錢三文完差上

御拜仕候事、

一 宜壽次・仲村御靈前江御燒香御拜仕候事、

一 三日、節句ニ付朝御茶湯御靈供上、御燒香

仕候事、

一 同日、祖母様正御月忌ニ付、晚御靈供上、御燒香

仕候事、

一 同日、私歳日ニ而輕く相祝候事、

一 上下やしき中其外女子、豊見城親雲上

内儀子もあねし事

一 吸物二ツ焼酎共出、晩手引一ツ、夜飯いもね御馳走

いたし候事

一 四日、久米村高嶺里之子親雲上、嫡子若秀才真三郎・次男

真山戸召列被罷出候事、

一 親方方々御見廻、御焼香二罷出候付、帰申迄

被相待候付、出来合之昼めし御馳走いたし

候事、

一 入相時分、親方罷歸高嶺懸御目、暫御嘸共

いたし、入相時分被罷歸候事、

一 私々真三戸・真山戸江和扇子一本ツ、親方より

高嶺江たはく入一、子共兩人江扇子二本・百田紙

壹帳ツ、相讓候事、

一 五日、仲村里之子親雲上歳日、親方之歳日も相兼

祝儀二付、此方家内人数も被相招皆々罷出、祝

候事、

一 酒代二包ツ、持参、且ふた拾斤・昆布一折(四斤カ)

差遣候事、

一 吸物・焼酎共出、手引一ツ之夜飯いもね共馳走

有之候事、

一 同日、宜寿次妹むたしや歳日三而、さあ庫ニ茶請

煮調、到来有之候事、

同日、宜寿次妹むたしや歳日三而、さあ庫ニ茶請

煮調、到来有之候事、

一 私親方共つ酒代差を且私儀二ツ
差遣候事

一 山戸明日二十四孝読終候由、自分罷出承候付、錢
拾貫文まんでう買入可申由相達、くり候事、

但、樽書物読終候時、錢拾貫文くり候付、本文
之通也、

一 六日、今晚兼ケ段里之子親雲上嫡子誕生、今日川卸ニ付
左之通差遣候事、

酒代親方 昆布一折

一 八日、宜寿次・仲村・伊江御殿・奥平・垣花御靈前
御焼香仕、天王寺・伍徳院・蓮華院・本立寺
御見廻いたし、直下やしきニ罷越、入相時分罷帰候事、

一 那覇儀間筑登之、嫡子真牛・次男真三郎相列
下やしきニ罷出、富島にや病氣之根体委細
承候処、昨今者気分食事等も別而相勝、もはや
念遣無之由承、喜悅之至存候事、

一 右子共兩人江扇子一本ツ、相讓申度存候処、
当所ニ而有合不申ニ付、其段申断錢式貫文完相包、
朱紙も無之候付包紙之真中ニ福寿之
二字書、片ニのし与書候而相讓候事、

一 十日、法堂大鹿長老御歳日之由ニ而、孫共被相呼
候付、左之通致進覽候事、

一 十日、法堂大鹿長老御歳日之由ニ而、孫共被相呼
候付、左之通致進覽候事、

黄大根一折 へん豆一重 但、次郎・樽持参

同日此所親方御出被成候付、左之通御馳走
いたし候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

一 一ツ上、御取替いたし、御菓子・御茶上候事、

同日、豊見城親雲上御祖母七拾三御生年

御立願御祝二付、兼而家内人数被相招、酉頭時分

二者宜寿次直罷出、左之通段々御馳走、おとり

狂言共致見物、夜之七ツ時分罷帰候事、

一私二色むしかう、親方赤むしかう一重ツ、

致進覽候事、

一翌廿三日、山城里之子を以御礼申入候事、

一十四日、かま戸婚礼日撰之儀、去月久米村曆通事

一吸物三ツ・焼酎・取肴共出、手引一ツ之料理いもね

一同日、私・親方兩人三而ふたし、拾斤・昆布四斤

差遣候事、

一同日、私・親方兩人三而ふたし、拾斤・昆布四斤

差遣候事、

一同日、豊見城親雲上御祖母七拾三御生年

御立願御祝二付、兼而家内人数被相招、酉頭時分

二者宜寿次直罷出、左之通段々御馳走、おとり

狂言共致見物、夜之七ツ時分罷帰候事、

一私二色むしかう、親方赤むしかう一重ツ、

致進覽候事、

一翌廿三日、山城里之子を以御礼申入候事、

一十四日、かま戸婚礼日撰之儀、去月久米村曆通事

一吸物三ツ・焼酎・取肴共出、手引一ツ之料理いもね

一同日、私・親方兩人三而ふたし、拾斤・昆布四斤

差遣候事、

由來せらるる二月六日同女七日日候行儀申上申
 候付、いづれも申談候處、廿日之日取時分柄可宜与相決、
 来月吉日ニ婚禮之日柄、膳部・引出物・行列帳等
 取添可申上候得共、先内々早々申上候方可宜与申談、
 今日次郎あんニ委細申含差遣候處、王子様
 真南風按司加那志御前ニ被召呼、御安否伺申上
 忝被思召候、且婚禮之日柄内々申上御喜悅ニ被思召上、
 委細被聞召候段、御返詞御座候事、
 附、次郎あんハ勝手之座ニ而、あんしたれ相伴
 二而菓子・吸物御馳走為有之由、

十三日、小祿親方門迄御見廻、翌日山城里之子を以
 御礼申上候事、

御礼申上候事

十四日、読谷山王子御来駕被下候付、左之通御取持
 仕候事、

一 御方はこ盆上、御煎茶上、盃立、肴立、御吸物
 三ツ上御盃頂、御菓子・御茶差上候事、
 一 親方江も私断御見舞候由被仰下候付、
 罷出御盃頂候事、

一 翌日、親方参上、私御礼も相兼申上候事、
 十五日、此方・宜寿次御靈前御焼香御拜仕、
 弁才天・観音両御前御焼香御拜仕候事、
 一 十六日、亡室三年忌内ニ而、上下屋しき中・宜寿次

相頼せ候處、来二月廿日・同廿七日日撰宜候由申来
 候付、いづれも申談候處、廿日之日取時分柄可宜与相決、
 来月吉日ニ婚禮之日柄、膳部・引出物・行列帳等
 取添可申上候得共、先内々早々申上候方可宜与申談、
 今日次郎あんニ委細申含差遣候處、王子様
 真南風按司加那志御前ニ被召呼、御安否伺申上
 忝被思召候、且婚禮之日柄内々申上御喜悅ニ被思召上、
 委細被聞召候段、御返詞御座候事、
 附、次郎あんハ勝手之座ニ而、あんしたれ相伴
 二而菓子・吸物御馳走為有之由、
 一 十三日、小祿親方門迄御見廻、翌日山城里之子を以
 御礼申上候事、
 一 十四日、読谷山王子御来駕被下候付、左之通御取持
 仕候事、
 一 御方はこ盆上、御煎茶上、盃立、肴立、御吸物
 三ツ上御盃頂、御菓子・御茶差上候事、
 一 親方江も私断御見舞候由被仰下候付、
 罷出御盃頂候事、
 一 翌日、親方参上、私御礼も相兼申上候事、
 十五日、此方・宜寿次御靈前御焼香御拜仕、
 弁才天・観音両御前御焼香御拜仕候事、
 一 十六日、亡室三年忌内ニ而、上下屋しき中・宜寿次

御方仲村親方始いつれも罷出、且外々女子孫共
罷出、皆々菓子・メ物・和物共持参、靈前江相手向焼香いたし
候事、

一 廿五日、此節々信仰仕候観音・弁才天御宝前、
去月十六日、二階江御安置仕候処、大屋四帖半之
座江御安置之方可宜与申談候処、

一 私ハ不快ニ付差越かたく、孫次郎・樽差遣候事、
一十七日、本立寺・天王寺招上囲碁いたし、緩々御咄
いたし候事、

一 昼間ももち小平相付、晚粥小平相付、
御馳走いたし候事、

一本立寺江例之通洪扇子一本・錦たはく入一ツ、
天天寺江洪扇子一本致進覽候事、

但、天王寺ハ此前たはこ入差上候付、本文之通也、
下屋しきニ罷出、不懸御目候事、

一 廿五日、此節々信仰仕候観音・弁才天御宝前、
去月十六日、二階江御安置仕候処、大屋四帖半之
座江御安置之方可宜与申談候処、

一 私ハ不快ニ付差越かたく、孫次郎・樽差遣候事、
一十七日、本立寺・天王寺招上囲碁いたし、緩々御咄
いたし候事、

一 昼間ももち小平相付、晚粥小平相付、
御馳走いたし候事、

一本立寺江例之通洪扇子一本・錦たはく入一ツ、
天天寺江洪扇子一本致進覽候事、

但、天王寺ハ此前たはこ入差上候付、本文之通也、
下屋しきニ罷出、不懸御目候事、

親方・仲村親方始いつれも罷出、且外々女子孫共
罷出、皆々菓子・メ物・和物共持参、靈前江相手向焼香いたし
候事、

一 廿五日、此節々信仰仕候観音・弁才天御宝前、
去月十六日、二階江御安置仕候処、大屋四帖半之
座江御安置之方可宜与申談候処、

一 私ハ不快ニ付差越かたく、孫次郎・樽差遣候事、
一十七日、本立寺・天王寺招上囲碁いたし、緩々御咄
いたし候事、

一 昼間ももち小平相付、晚粥小平相付、
御馳走いたし候事、

一本立寺江例之通洪扇子一本・錦たはく入一ツ、
天天寺江洪扇子一本致進覽候事、

但、天王寺ハ此前たはこ入差上候付、本文之通也、
下屋しきニ罷出、不懸御目候事、

一 廿五日、此節々信仰仕候観音・弁才天御宝前、
去月十六日、二階江御安置仕候処、大屋四帖半之
座江御安置之方可宜与申談候処、

一 私ハ不快ニ付差越かたく、孫次郎・樽差遣候事、
一十七日、本立寺・天王寺招上囲碁いたし、緩々御咄
いたし候事、

一 昼間ももち小平相付、晚粥小平相付、
御馳走いたし候事、

一本立寺江例之通洪扇子一本・錦たはく入一ツ、
天天寺江洪扇子一本致進覽候事、

但、天王寺ハ此前たはこ入差上候付、本文之通也、
下屋しきニ罷出、不懸御目候事、

一 御飯重座江奉移、御茶湯差上、御焼香仕候事、

一 廿九日、本立寺・天王寺・仲村親方・村吉里之子親雲上下屋しきニ招上、囲碁共ニ而緩々御咄いたし候事、

但、伍徳院・法堂も催上候処、御不快又ハ用事有之由ニ而御出無之候、

一 御吸物一ツ・唐風茶請益ニ取看仕合、焼酎出、さあこうニ茶請煮調差出、晚ハ四ツ組之夜飯御馳走いたし候事、

一 晦日、本立寺・天王寺・私・仲村親方・村吉里之子親雲上御招有之・八ツ後罷出囲碁共ニ而緩々御咄、夜入候而罷帰候事、

一 唐・和茶二色盤若寺 清明持参差上候事、

一 昼間さうめん砂糖煮之吸物、晚四ツ組之夜飯御馳走有之候事、

一 天王寺かはしニ而囲碁いたし、三番共私勝候事、

二月 二月中

一 朔日、旅役言上相済候付、方々祝儀差支候事、

三日、与儀筑登之親雲上事、帳当座足筆者被仰付、則罷出、此方親方ニ而奥間親方・同沢岬親雲上江段々内意申込候故、此程之願意相叶別而難有由、厚礼承候事、

一 右ニ付今日祝候由ニ而、孫共相招其外前川、

一 初日、旅役言上相済候付、方々祝儀差支候事、

三日、与儀筑登之親雲上事、帳当座足筆者被仰付、則罷出、此方親方ニ而奥間親方・同沢岬親雲上江段々内意申込候故、此程之願意相叶別而難有由、厚礼承候事、

一 右ニ付今日祝候由ニ而、孫共相招其外前川、

一 初日、旅役言上相済候付、方々祝儀差支候事、

三日、与儀筑登之親雲上事、帳当座足筆者被仰付、則罷出、此方親方ニ而奥間親方・同沢岬親雲上江段々内意申込候故、此程之願意相叶別而難有由、厚礼承候事、

瀬底山城供下女共迄物中相招候付、いつれも罷出候付、段々馳走為有之由、

一 與儀事、白後夜是入毛音方、凡は候て、且当分困窮之筈候処、右通多人数相招物入仕

致合力候事、

一 六日、山女日、女、御乳十二日樽元服之日柄相招候付、宜寿次親方・仲村親方・佐久真里之子親雲上相招、御料理御物献上、其外彼是相段いたし候事、

一 一昼間ハまんてう取寄、汁菜相付馳走いたし候事、

一 八日、真つる事今朝不気色ニ有之由候処、七ツ過時分、頭痛齒之いたみ強く、甚及難儀候付、崎山親雲上相催服薬させ候付、夜入時分ハ快相成候事、

一 同日、かまと婚禮之儀、義村御殿江先日次郎あん差遣、内々ハ申上置候へ共、来ル十二日表向日柄彼是申上度由、比嘉筑登之を以御案内申上候処、御殿被聞召上由、御返詞御座候事、

一 同日、義村御殿、あんしたれ御使を以被仰(下カ)候者、婚禮之儀来ル廿二日兼而御約束相濟候処、此内ハ

上様御癩氣御快不被遊御座候間、少々者

日柄相延度被仰下、追付屋比久筑登之親雲上御使を以

上様御癩氣御快不被遊御座候間、少々者

日柄相延度被仰下、追付屋比久筑登之親雲上御使を以

被仰下候付、前刻ハ女御使江御申後有之候付、
 猶又御使を為被成候由、右御達之趣者
 上様江御断不被仰上候而不叶儀有之候処、御断
 相濟不申内者、婚礼之礼式御取行難被成候間、
 御断相濟候迄ハ日柄召延度被思召由致承知候、
 御尤之御儀ニ奉存候へ共、来月ハ閏月ニ而婚礼日柄
 難相用、昼夜待兼居申事御座候間、とふか早々
 御断被仰上、兼而御約束之日柄不被召延様御取計
 可被下由、御返詞申上候事、
 一十三日、天王寺長老招上、囲碁ニ番打一番ツ、勝
 候事、
 一吸物一ツ 和さうめん
 一同一ツ よし之葛砂糖ニ而たて

一吸物一ツ 和さうめん
 一同一ツ よし之葛砂糖ニ而たて

嘉慶二拾年乙亥

六月中

一朔日佐渡山親方御跡役入札被仰付候事
 一五月十四日親方御機嫌伺ニ我謝御殿江
 罷下、酉時分罷登、今日も七度御下御氣分も
 御勝不被成、御世話之御様子ニ奉拝候由、
 一此程条人參御用被遊候処、今日も本人參
 御用被遊候由、
 一五月十七日、豊見城按司方御供赤嶺にや御使
 を以被仰聞候者、
 大子様御不例之儀、此内者御快方ニ被遊御座

嘉慶二拾年乙亥

五月中

一朔日、佐渡山親方御跡役、入札被仰付候事、
 一五月十四日、親方御機嫌伺ニ我謝御殿江
 罷下、酉時分罷登、今日も七度御下御氣分も
 御勝不被成、御世話之御様子ニ奉拝候由、
 一此程条人參御用被遊候処、今日も本人參
 御用被遊候由、
 一五月十七日、豊見城按司方御供赤嶺にや御使
 を以被仰聞候者、
 大子様御不例之儀、此内者御快方ニ被遊御座

昨夜御引別茂無御座候処、夜前七ツ時分者
御乳茂能被召上、夫長御氣分茂宜被遊御座候由、

昨日者日中二四度御下被成候由、夜前者夜中三度御下被成候由、

一按司者昨日七ツ時分御下、夜前八ツ時分御登被成、御供赤嶺ハ夜明時分罷登候由、

一同日七ツ過時分、山城筑登之親雲上豊見城御殿江差遣、今朝前文之通御使被下候御礼申上、

且九日之御様体奉伺候処、按司者我謝御殿江御越被成、豊見城里之子相逢、里之子も

今日八ツ時分罷登候処、御氣分宜御通被遊候由、今日八ツ時分者御大便両度被遊候由、

一十八日、山城筑登之親雲上今朝豊見城御殿江參上、按司懸御目、昨日も只今迄

一太子様御様体奉伺候処、左条之通被仰聞候由、一按司者昨日八ツ時分御參上被成、夜前四ツ時分御帰被成候処御氣分茂宜御通御大便も此前者

一廿四日、太子様御不例之儀、此内者御快被成御座候由承知仕候処、今朝も御氣分御勝

無御座、御医者中相集段々御養生

今日八ツ時分罷登候処、御氣分宜御通被遊候由、今日八ツ時分者御大便両度被遊候由、

一 奉承知、世上之歎無此上奉絶言語候御事、
一 今夜明六ツ時分、御乳母奉抱御安んた
御城江奉移候由、

一 一かま戸者右之段奉承知、早速我謝之御殿
參上奉伺御機嫌、明六ツ時分罷歸候事、

一 一廿五日、親方登城、私名代相兼
上々様御悔申上相濟、豊見城御殿者 私
御悔相兼申上、義村御殿・宜野湾御殿・
美里御殿江茂參上御悔申上候由、

但、義村御殿・宜野湾御殿・美里御殿も
私御悔相兼候由、

一同日夜之亥之時、山川之御臺江御葬送
相濟候事、

一同日、諸人慎日を以、月二替日数十三日被仰付
候事、

一 廿日、伍徳院長老を御招二付、私・仲村親方・俣
親方罷出緩々御咄、段々預御馳走、入相時分
罷歸候事、

一 廿二日、兼ヶ段親雲上乘船入津、
一 廿三日、大唐船入津、
一 廿四日、小唐船入津いたし候事、

一 廿五日、兼ヶ段親雲上乘船入津、
一 廿六日、大唐船入津、
一 廿七日、小唐船入津いたし候事、

一 廿八日、兼ヶ段親雲上乘船入津、
一 廿九日、大唐船入津、
一 三十日、小唐船入津いたし候事、

一 三十一日、兼ヶ段親雲上乘船入津、
一 三十二日、大唐船入津、
一 三十三日、小唐船入津いたし候事、

一 三十四日、兼ヶ段親雲上乘船入津、
一 三十五日、大唐船入津、
一 三十六日、小唐船入津いたし候事、

一 廿六日、私事此程後之家江相住居候処、彼家親方江引渡、私者南之二階江相住居候相談相決、来六月七日吉日ニ而互ニ引移申考ニ而今日ノ諸道具引移候事、

一 五月廿日、親方申聞候者、宜寿次家内之儀殊之外及当迫、日々之食事茂続兼候体ニ而、何様相計候而可然哉、所存も相絶及迷惑居候間、悴親方ニ而何分ニも宜取計度由、宜寿次被申聞候者、御家内之儀負荷大分成立至極困窮之段承、佐久真里之子親雲上江も何様取計へ候而可然哉相尋候処、佐久真申候者、

一 自分度段々存寄も有之事候得共、自分存寄杯者御落着無之候付、何共可仕様無之極々及心配候由申候付、親方ノ宜寿次江申候者、御家内之儀右通及御当迫驚人申事候間、私佐久真相談を以、御家内相立候様工面を尽取計申度候間、先一往者御家内物方之儀者私佐久真江御まかし御構不被成候ハ、心之及相談を以負荷返済方、又者日々之御続方等相賦申上度由申候付、宜寿次被申候者、是者厚心入之程忝存候間、家内物入方之儀者自分ニ者不相構、兩人共江御まかし

一 廿六日、私事此程後之家江相住居候処、彼家親方江引渡、私者南之二階江相住居候相談相決、来六月七日吉日ニ而互ニ引移申考ニ而今日ノ諸道具引移候事、

一 五月廿日、親方申聞候者、宜寿次家内之儀殊之外及当迫、日々之食事茂続兼候体ニ而、何様相計候而可然哉、所存も相絶及迷惑居候間、悴親方ニ而何分ニも宜取計度由、宜寿次被申聞候者、御家内之儀負荷大分成立至極困窮之段承、佐久真里之子親雲上江も何様取計へ候而可然哉相尋候処、佐久真申候者、

一 自分度段々存寄も有之事候得共、自分存寄杯者御落着無之候付、何共可仕様無之極々及心配候由申候付、親方ノ宜寿次江申候者、御家内之儀右通及御当迫驚人申事候間、私佐久真相談を以、御家内相立候様工面を尽取計申度候間、先一往者御家内物方之儀者私佐久真江御まかし御構不被成候ハ、心之及相談を以負荷返済方、又者日々之御続方等相賦申上度由申候付、宜寿次被申候者、是者厚心入之程忝存候間、家内物入方之儀者自分ニ者不相構、兩人共江御まかし

構不申候間、何分二茂宜取計給度頼入
候由、被申候由、

但、翌六月朔日、右礼迎宜寿次態々被罷出

候事、

乙亥六月申

宜寿次御家内之儀二付而者、親父江も兼々
被附御氣、此間御差迫之節々御合力等及
重高候得共、今更負荷大分成立最早毎日之
御統方調兼、今般御国許音物等之手当も
一切不能手式由三而、宜寿次親方委曲御頼
之趣承知仕至極心配之至候、右式御当迫二付而者
先様如何可成行哉、至而心痛之仕合二而彼是
佐久真里之子親雲上江相尋候処、当分通二而者自分
存寄も詮立不申極々及心配居候由、依之
佐久真存寄之趣者、右負荷返濟御家中
最通候手段者、段々相考置候間、先様之儀者
宜寿次親方無御構何角私引受、伊江
親方得御差図、前後繰合之働仕候ハ、漸々
負荷本濟取繕候術決而行届可申哉与承候付、
親方江も成行申上、宜寿次江参上及御相談
候趣者、御家内之儀是程迄被及御当迫、御老
年御世話二相成候儀、別而御氣之毒之至二而、

先様も成行可申候由、依之今更自
依之思召之に、おるり受商分世宜自
存寄も詮立不申極々及心配居候由、依之
佐久真存寄之趣者、右負荷返濟御家中
最通候手段者、段々相考置候間、先様之儀者
宜寿次親方無御構何角私引受、伊江
親方得御差図、前後繰合之働仕候ハ、漸々
負荷本濟取繕候術決而行届可申哉与承候付、
親方江も成行申上、宜寿次江参上及御相談
候趣者、御家内之儀是程迄被及御当迫、御老
年御世話二相成候儀、別而御氣之毒之至二而、

為之令之而少承一也。在弟湯儀去
 之。御前候者、第一者御家中御儀者
 無滯親方御方江も年分之御故実米錢無
 御不足相賦り、毎月差上、猶又高利之
 御借錢漸々繰合等を以取細候術仕候ハ、先様
 御安心被成候筋も可有之候付、委曲佐久真
 里之子親雲上江も申聞候処、随分引受取計
 諸事私江相談を以、御家中相立候様幾重二も
 取計候趣承事候間、一往其通御聞置
 被成候而者如何可有之哉与申上候処、別而心入
 之程忝被思召候間、家内物方之儀者先様無
 構、佐久真江まかせ置候間、何分二も宜取計給度旨
 御頼之趣者有之候、右二付而者專佐久真引受取計
 申事候得共、猶又此方奉公人之内父瀬底
 里之子親雲上・喜久里里之子親雲上兩人江茂此方懸而
 佐久真加勢相頼、乍其上万事氣を付
 申談度旨、親父江も首尾申上候事、

申事候得共、猶又此方奉公人之内父瀬底
 里之子親雲上・喜久里里之子親雲上兩人江茂此方懸而
 佐久真加勢相頼、乍其上万事氣を付
 申談度旨、親父江も首尾申上候事、

一 六月四日、親方申候者、宜寿次家内之儀前文
 之通相談相決置候得共、得与致思慮候処、右通之
 仕向二而者以後難致儀共出来、却而不和基二も

色々尽工面候処、第一者御家中御儀者
 無滯親方御方江も年分之御故実米錢無
 御不足相賦り、毎月差上、猶又高利之
 御借錢漸々繰合等を以取細候術仕候ハ、先様
 御安心被成候筋も可有之候付、委曲佐久真
 里之子親雲上江も申聞候処、随分引受取計
 諸事私江相談を以、御家中相立候様幾重二も
 取計候趣承事候間、一往其通御聞置
 被成候而者如何可有之哉与申上候処、別而心入
 之程忝被思召候間、家内物方之儀者先様無
 構、佐久真江まかせ置候間、何分二も宜取計給度旨
 御頼之趣者有之候、右二付而者專佐久真引受取計
 申事候得共、猶又此方奉公人之内父瀬底
 里之子親雲上・喜久里里之子親雲上兩人江茂此方懸而
 佐久真加勢相頼、乍其上万事氣を付
 申談度旨、親父江も首尾申上候事、

附、本文為御礼六月朔日宜寿次親方態々

御出有之候事、

嘉慶式拾年乙亥六月二日

一 六月四日、親方申候者、宜寿次家内之儀前文
 之通相談相決置候得共、得与致思慮候処、右通之
 仕向二而者以後難致儀共出来、却而不和基二も

成立可申哉与念遣ニ存申候間、錢貳万貫文合力
 いたし、右錢之儀佐久真・瀬底・喜久里江相渡、
 右錢ニ而砂糖買入、差繰を以負荷返済、家中
 続方等取計候様、右三人江まかせ相働させ候方
 可宜与存候由承候付、私も同意ニ存候付、仲村
 親方も致相談候処、仲村も弥同意之由被申
 候付、親方宜寿次江罷出右之趣致相談候処、
 是者別而忝次第候間、何分ニ茂宜下知致度由
 被申候由、

一 右金目砂糖買入、本錢者取止餘計を以
 負荷返済、家内続方等取計得候ハ、模合
 相企負荷返済之術を格別負荷返済
 相早まり候由、右三人も申候事、

一 七日、今日世上慎相晴候事、
 一同日、今日吉日ニ而私者南之二階大屋之八帖
 相住居、後之家者親方江引渡候事、

一 十一日、上原御殿御見廻いたし、一刻御咄共いたし
 下屋敷ニ罷越候事、

一 一月湛長老招上、折節富盛親雲上も有合ニ而、囲碁共ニ而
 緩々御啣いたし候事、

一 富盛祖母も耳もち汁菜相付御馳走
 有之、長老者晩方御帰、私も早々罷帰

以今月... 候也、今夜者月も能有之筈候間、緩々
 相慰可申由富盛祖母の折角留候付、緩々
 月共詠、晚五ツ過時分罷歸候事、
 但、耳もち満腹いたし候付、夜めし共
 馳走者必無用可致由相断候処、入念
 粥・煮物相付馳走有之候事、
 一 富盛祖母・上原按司御室江、錢百貫文ツ、
 持参ニ而見次いたし候事、
 一 十五日、暑気凌兼候付、物見江畳敷付左
 之通人数招上、致御嘶相す、み候事、
 一本立寺・天王寺・伍徳院・仲村親方
 御殿
 一 昼間まんてう、晚真黍・粥・間之吸物三ツ、とん
 たあ盆三甘物・取肴・玉水寒盛合、白酒共
 出緩々御咄いたし候事、
 一 十六日、伍徳院長老御招有之、緩々致御咄、
 晚者天王寺御門江御同心ニ而罷出、人之往来
 致見物候事、
 一 玉水かん一重持参致進見候事、
 一 昼間そば切、晚茶めし御馳走有之候事、
 一 同日、晚伊江按司御嫡子御誕生被成候段、大工廻
 里之子御使を以御知せ有之候付、早速悴親方
 参上、私御祝儀相兼御歛申上候事、

一十七日伊江御殿参上、御嫡子御誕生之御祝儀申上候事、

申上候事

一 同日、富盛山戸事、疱疾首尾克相凌、来ル
廿一日帰家いたし候考ニ而、右之祝ニ祖母方此方
家中人数相招候付、八ツ後いつれ列立罷越、夜之
五ツ過時分迄相慰罷帰候事、

但、妹むたしやも相列罷越候事、

一 茶・茶請共段々出、はん者二汁一菜之休馳走
有之候事、

一 真鶴も茶々請持参いたし候事、

一 私者さん砂糖八寸壺重持参いたし候事、

一 廿一日、童子共疱疾首尾克相仕舞、今日結願いたし
候付、諸事左条之通取行候事、

一 願人数、佐久真里之子親雲上・仲村里之子親雲上・伊江里之子・
仲村里之子・惣慶里之子・其外童子共、

一 妹むたしや・真うしや・仲村里之子親雲上内儀
但、親方者寺入内、真鶴者頭痛いたし、願
出不申候、

一 被罷出候人数、宜寿次親方・仲村親方・兼ヶ段
親雲上・浜川親雲上、前之座親類又者近付之
人数数人出會、

一 右三付方々品物□□、勝連御殿も結願ニ而

一 右三付方々品物、膳走沙敷も結願ニ而

料理八寸一組到来、

一勝連御殿結願富盛今日帰家いたし候付、

祝儀三左之通差遣候事、

一昆布一折ツ、四斤程 酒代差遣候事、

天日記之儀、去六月迄者相記置候処、私事

七月始比之咲氣相煩、日記も取止置候処、

最早咲氣も過半平愈いたし候付、今日も

猶又取付候事、

亥九月十三日

嘉慶二十年乙亥

九月中

一十三日接貢唐船出帆いたし候事、

一同日、天王寺前住寺故睨玄長老御靈前江、

左之通御焼香仕候事、

御香五本 赤むしかう一重

一十六日護送船出帆、

一唐人五拾六人

一役者板良敷里之子親雲上 前原里之子親雲上

小渡里之子親雲上 宇地原里之子親雲上

一同日、那覇志良堂筑登之内儀安否尋罷出、

あんもち持参有之候付、本立寺和尚残暑

御尋申上、右あんもち□重もたし上候事、

料理八寸一組到来、

一勝連御殿結願富盛今日帰家いたし候付、

祝儀三左之通差遣候事、

一昆布一折ツ、四斤程 酒代差遣候事、

天日記之儀、去六月迄者相記置候処、私事

七月始比之咲氣相煩、日記も取止置候処、

最早咲氣も過半平愈いたし候付、今日も

猶又取付候事、

亥九月十三日

嘉慶二十年乙亥

九月中

一十三日、接貢唐船出帆いたし候事、

一同日、天王寺前住寺故睨玄長老御靈前江、

左之通御焼香仕候事、

御香五本 赤むしかう一重

一十六日、護送船出帆、

一唐人五拾六人

一役者板良敷里之子親雲上 前原里之子親雲上

小渡里之子親雲上 宇地原里之子親雲上

一同日、那覇志良堂筑登之内儀安否尋罷出、

あんもち持参有之候付、本立寺和尚残暑

御尋申上、右あんもち□重もたし上候事、

十九日、久米村老人上原里之子親雲上見廻被罷出、被申聞候者、先年浦崎親方私御見廻之節々、自分安否御尋被成候由、御深切之御心入致感心、いつそ御見廻緩々得御閑話度存含居候処、何角与押移及延引、今日態々見廻ニ御出為被成由、八十八歳之老人遠方御見廻、別而忝次第二而暫御嘶、吸物・菓子杯御馳走いたし、且仲嶺親雲上口中痛之儀共御咄承候事、

廿一日、右御礼且仲嶺親雲上安否致御尋度存候処、二才共差遣迄ニ而厚御礼之趣、私心底之程難申述積ニ而、今日兼島親雲上相頼被参候事、

一上原里之子親雲上江白煎茶一包・散砂糖一重、

一仲嶺親雲上江白煎茶一包・吉野葛一箱、

地漬大根一重致進覽候事、

同日、申年親方上国之時、玉城間切奥之観音御宝前江立願仕置候付、今日吉日ニ付右御結願、親方・佐久真里之子親雲上召列、四ツ頭時分罷越候事、

一右之段玉城按司被聞召、結願相濟次第、按司御下屋敷江罷出候様被仰聞、且親方始供之者迄昼めしも御馳走被成筈候間、持参ニ不及由、厚御心入之次第致承知、松風・花ほうろ之菓子一籠持参進上いたし候事、

一上原親雲上江白煎茶一包・散砂糖一包、

一仲嶺親雲上江白煎茶一包・吉野葛一包、

地漬大根一重致進覽候事、

同日申年親方上国之時、玉城間切奥之観音御寶前江立願仕置候付、今日吉日ニ付右御結願、親方・佐久真里之子親雲上召列、四ツ頭時分罷越候事、

一右之段玉城按司被聞召、結願相濟次第、按司御下屋敷江罷出候様被仰聞、且親方始供之者迄昼めしも御馳走被成筈候間、持参ニ不及由、厚御心入之次第致承知、松風・花ほうろ之菓子一籠持参進上いたし候事、

女御禮元寺住持寺蓮長老の筆談を
し花十鉢海流に侍るはもとよ敷いふ事

由之海流の事
但右の礼宗元寺住持の筆談に依りて

女御禮元寺住持の筆談に依りて

女御禮元寺去七月迄はもとよ敷りて風氣に強
く下りし事と云ふは御禮元寺の御使

不仕候得共、為保養今日孫樽・惠樽召列、八ツ時分
罷越、西頭時分罷歸候事、

女御禮元寺親雲上・渡口筑登之親雲上、見事成大菊
之鉢に也

但、玉元者直被罷出、渡口者子渡口し罷出候事、
乙亥
十月中

女御禮元親方女御使を以安否御尋、珍敷
魚五本被下二付、宜寿次親方・仲村親方一本ツ、
もたせ進候事、

一六日、為保養下やしき江差越相慰可申与、いつれも
申合、九ツ頭時分罷越すら本立寺江御見廻、

去七月私病氣ニ付祈祷御願仕候処、御親切ニ
ましなひ共被成被下候而、右御礼申上、半山茶一包・

散砂糖一重致進覽、直下やしき罷越相慰、
西過時分罷歸候事、

乙亥
十月中

一廿四日、崇元寺住持・蓮華院長老の見事成大菊

之花十鉢、詠覽可仕由ニ而御遣せ被成、御心入忝次第
拜受、詠覽いたし候事、

但、右御礼崇元寺住持被仰聞候御祝儀、

廿六日瀬底里之子親雲上を以申上候、

一廿八日、私事去七月始比はやり之風氣ニ強く
相当り、下やしきニ長々罷越不申候処、いまた全快

不仕候得共、為保養今日孫樽・惠樽召列、八ツ時分
罷越、西頭時分罷歸候事、

一廿九日、玉元里之子親雲上・渡口筑登之親雲上、見事成大菊
五鉢ツ、到来、

但、玉元者直被罷出、渡口者子渡口し罷出候事、
乙亥
十月中

一五日、与那原親方女御使を以安否御尋、珍敷
魚五本被下二付、宜寿次親方・仲村親方一本ツ、
もたせ進候事、

一六日、為保養下やしき江差越相慰可申与、いつれも
申合、九ツ頭時分罷越すら本立寺江御見廻、

去七月私病氣ニ付祈祷御願仕候処、御親切ニ
ましなひ共被成被下候而、右御礼申上、半山茶一包・

散砂糖一重致進覽、直下やしき罷越相慰、
西過時分罷歸候事、

一 昼間まんでう汁菜相付、何れも江馳走いたし候事、

一人數奥浜親雲上内儀・富盛親雲上祖母・妹むたしや・勝連按司母・よめ真うし・其外孫共惣様相列候事、

但、真つるハ不快ニ付罷越不申、

一 勝連按司母をまんてう一重持参、

一 七日、与那原殿内江次郎あん使を以、御物中御安否御尋、親方江散砂糖一重差上候付、菓子・吸物

親雲上御宅年回忌ニ付御出被成候間、御帰次第懸御目可申由、御返詞有之候事、

一 八日、右為御礼与那原親方門迄御出被成候事、

一 十四日、夏楳船入津、親方江三司官被仰付候段御到来有之、夜之五ツ時分日帳主取富永親雲上御使を以、右之段御しらし御座候事、

一 右相濟、撰政・三司官・十五人御出、御内々御祝詞被仰聞候事、

附、御評定所筆者主取并筆者

中・帳当主取・同筆者中も祝儀

被罷出候事、

一本座者御三献之御菓子差上、主取・筆者中江

一 如所願之御菓子差上、主取・筆者中江

一 如所願之御菓子差上、主取・筆者中江

一十六日、御鎖子之側御使を以、三司官役被仰付候段、上意被成下候事、

右三付、

上様方御近習城田親雲上、

佐敷御殿・野嵩御殿方座敷大親御使を以、

御祝詞被成下候事、

一右御使御三人江、はなふうろ之御菓子・

御吸物・御三献御馳走仕候事、

一右相済、撰政・三司官・十五人御出、其外御

評定所・帳当座主取筆者被罷出、御祝詞

御出被成候付、去ル十四日同断、

一十八日、今日方親方始而出勤、諸事左条之通

相勤候事、

一五ツ時分登城、御座江罷出御相中衆懸御目、

彼是御相談いたしたる由、

一御書院参上、

上様・佐敷按司加那志様・野嵩按司加那志様方

一昨日、御祝詞御使被成下候御拜申上候事、

但、上様方私江御祝詞被成下候御拜も

取添申上候事、

一右相済、四ツ時分御鎖之側識名親雲上相列

候事、

一右相済、今日方親方始而出勤、諸事左条之通

相勤候事、

一五ツ時分登城、御座江罷出御相中衆懸御目、

彼是御相談いたしたる由、

一御書院参上、

上様・佐敷按司加那志様・野嵩按司加那志様方

一昨日、御祝詞御使被成下候御拜申上候事、

但、上様方私江御祝詞被成下候御拜も

取添申上候事、

一右相済、四ツ時分御鎖之側識名親雲上相列

候事、

一五ツ時分登城、御座江罷出御相中衆懸御目、

彼是御相談いたしたる由、

一御書院参上、

上様・佐敷按司加那志様・野嵩按司加那志様方

一昨日、御祝詞御使被成下候御拜申上候事、

但、上様方私江御祝詞被成下候御拜も

取添申上候事、

一右相済、四ツ時分御鎖之側識名親雲上相列

候事、

一五ツ時分登城、御座江罷出御相中衆懸御目、

彼是御相談いたしたる由、

一御書院参上、

上様・佐敷按司加那志様・野嵩按司加那志様方

一昨日、御祝詞御使被成下候御拜申上候事、

但、上様方私江御祝詞被成下候御拜も

取添申上候事、

一右相済、四ツ時分御鎖之側識名親雲上相列

候事、

御見廻いたし、山下正助殿御宿江参り、
 持下之昼休共給罷登、玉城御殿・宜野湾
 御殿・羽地御殿・読谷山御殿・本部御殿・安里御殿
 参上、御祝詞ニ御出被下候御礼申上、伊江御殿・
 宜寿次・仲村参上御焼香いたし、酉過時分
 罷帰、御霊前御焼香いたし相済候而、後之
 座ニ而祝候而、千餅之菓子・さうめん之
 吸物、私相伴ニ而出候事、
 一御かま拝候みはな・御酒真つる出候付、
 私酌取候事、

一廿一日、昨日酉過時分山下正助殿御出被成候付、親方
 夜めし共御馳走いたし、緩々御咄いたし、夜更ニ付
 親方留上候付、御とまり夜明候付、宜寿次
 親方も被罷出御嘶いたし、吸物・朝めし共御馳走
 いたし候事、

一私事、昨日生看一喉被下候付、罷出右御礼共
 申上御咄可致之処、折節癩氣差発其儀
 相叶不申、今日者快罷成候付、私住居所
 懸御目可申由ニ而、後之座江招上右御礼共
 申上、貴様御事親方在番之時分御丁噲
 被仰聞、当地江御下被成候而も不相替、

一 御心易御取合、且御作意之綴文
 御詠歌共被下、別而忝次第二而憚ながら拙者
 長命果報御あやかりも可相成与、唐扇子
 一箱・島紬着懸之衣裳進申度由、御挨拶
 いたし、右品懸御目候処、是者心入別而忝
 御持登、御子孫共迄永々御讓宝物ニ
 相成候由ニ而、厚御礼被仰聞候事、

嘉慶二十一年丙子
 正月の六月迄家中日記

一 元日、親音・弁財天・御神・御霊前御焼香仕、宜寿次・
 仲村御焼香仕候事、

一 三日、宜寿次親方歳日ニ付被相招候付、家中人数罷出
 相祝候事、

一 御霊前御酒代差上、御焼香仕候事、

一 私方塩ふた壺切五斤、真鶴大根一折差遣候事、

一 宜寿次親方・同人御前・妹むたしや江、年頭之酒代進覽
 いたし候事、

但、歳日祝儀ニ酒代一包進候事、
 一 茶々請、晩者いもね汁相付馳走有之候事、

嘉慶二十一年丙子
 正月の六月迄家中日記

一 元日、親音・弁財天・御神・御霊前御焼香仕、宜寿次・
 仲村御焼香仕候事、

一 三日、宜寿次親方歳日ニ付被相招候付、家中人数罷出
 相祝候事、

一 御霊前御酒代差上、御焼香仕候事、

一 私方塩ふた壺切五斤、真鶴大根一折差遣候事、

一 宜寿次親方・同人御前・妹むたしや江、年頭之酒代進覽
 いたし候事、

但、歳日祝儀ニ酒代一包進候事、
 一 茶々請、晩者いもね汁相付馳走有之候事、

八日秋首日、午藏向、立願又者致結願候付、親類共

右振候りらる。

一秋首早立、立願次郎十三、立願

一秋首早立、沙使者之、時立願も、今日結願いたし

候事

一九月私并仲村秋首早立日之祝いたし候事

一八ツ内者上下屋敷中皆々仲村江罷出相祝、八ツ後者

は言いつれも罷出相祝候事

一いもね夜めし馳走いたし候事

一十二月平田掃部殿役々衆御年頭御腰懸招請、諸事

例之通相濟候事

一役々衆之内、横目米良彦市殿・春田次郎右衛門殿、

同心大田直ハ御暇乞、

一御相伴豊見城按司・玉城親方、御見廻宮平

親方・伊野波親雲上・祢覇親雲上・天久親雲上・武島

親雲上・安里親雲上

一庖丁照屋筑登之親雲上、御料理二三ツ組ニ御手引

一ツ、間之御菓子二・御吸物数々出候事、

一十三日、長老衆御参会いたし候事、

一本立寺・天王寺御暇、五徳院・崇元寺・廓隠長老

法堂大辰長老・万松院長老

一菓子色々盛合ニ而出、昼間和餅小平相付、晚手引

一八日、親方生年歳日ニ付、立願又者致結願候付、親類共
相招祝申候事、

一親方四十九之立願、次郎十三之立願、

一親方年頭御使者之時立願も、今日結願いたし

候事、

一九日、私并仲村親方歳日之祝いたし候事、

一八ツ内者上下屋敷中皆々仲村江罷出相祝、八ツ後者

此方江いつれも罷出相祝候事、

一いもね夜めし馳走いたし候事、

一十二日、平田掃部殿役々衆御年頭御腰懸招請、諸事

例之通相濟候事、

一役々衆之内、横目米良彦市殿・春田次郎右衛門殿、

同心大田直ハ御暇乞、

一御相伴豊見城按司・玉城親方、御見廻宮平

親方・伊野波親雲上・祢覇親雲上・天久親雲上・武島

親雲上・安里親雲上

一庖丁照屋筑登之親雲上、御料理二三ツ組ニ御手引

一ツ、間之御菓子二・御吸物数々出候事、

一十三日、長老衆御参会いたし候事、

一本立寺・天王寺御暇、五徳院・崇元寺・廓隠長老

法堂大辰長老・万松院長老

一菓子色々盛合ニ而出、昼間和餅小平相付、晚手引

一 行儀 吸物三ツ・焼酎・梅酒・取肴 排出候事

一 十九日 久米村八十九歳之老人上原里之子親雲上御見廻有之、後之座江申入暫御咄共いたし、出来合之菓子

一 自能才相回舟沙持春江流江ん下儀別有

但書物字題

氣數解 第四章共四冊 道統傳 第二章共四冊

質文 并 風俗論 第一章共四冊

吉凶解 第三章共四冊

一月日仲村親方、江夜出候事、取肴仲間親雲上老

母當年九十七之御歳ニ付、左之品私江あやからし

可申由ニ而、使孫仲間子罷出候由承候付、則仲間子

此方江呼せ、右之趣承、左之品差出候付、色衣裳帯共

いたし頂候事、

一 和扇子二本箱入寿之詩書調

一手掛二ツ寿之歌染調一枚

但、正助殿歌之由

一 右三付、御返礼ニ左之通もたし進候、

源氏たはく一箱 煎茶一壺 白木表

一 仲間子、私・仲村親方相伴ニ而、吸物二ツ・焼酎出し

一 之料理・吸物三ツ・焼酎・梅酒・取肴 排出候事、

一 十九日、久米村八十九歳之老人上原里之子親雲上御見廻有之、後之座江申入暫御咄共いたし、出来合之菓子

御馳走いたし候事、

一 自作之書物四冊御持參被給、御心入之儀別而

忝存候事、

但、書物字題

氣數解第四章共四冊、道統傳第二章共四冊

質文并風俗論第一章共四冊

吉凶解第三章共四冊

一同日、仲村親方被罷出承候者、那霸仲間親雲上老

母當年九十七之御歳ニ付、左之品私江あやからし

可申由ニ而、使孫仲間子罷出候由承候付、則仲間子

此方江呼せ、右之趣承、左之品差出候付、色衣裳帯共

いたし頂候事、

一 和扇子二本箱入寿之詩書調

一手掛二ツ寿之歌染調一枚

但、正助殿歌之由

一 右三付、御返礼ニ左之通もたし進候、

源氏たはく一箱 煎茶一壺 白木表

一 仲間子、私・仲村親方相伴ニ而、吸物二ツ・焼酎出し

和扇一本入一箱納たす入一由儀

一右禮之儀、参を以厚可申入本意ニ而候得共、年罷寄

其儀相叶不申候間、其方も御挨拶無用可致由

有之、御親父江可申上段、仲間子江相達候事、

一廿二日、東之小座江本立寺招上碁打候処、殊之外不出来

かわしニ而四番まけ候事、

一昼間者、まんでう汁菜相付御馳走いたし候事、

一伍徳院も招上候処、用事相仕舞御出被成候由、御

返詞有之候処、御出無之候、

一廿三日、本立寺の御招有之、罷出二・三番囲碁いたし、

高原殿内下やしきニ而、此方二才共をとり狂言稽古いたし

候付、長老御同心ニ而罷越見物いたし、晩方帰宅候事、

一私者田いも・いりきさあこ二入、茶一包長老江進覽いたし

候事、

一長老の物一重・焼酎一瓶御持参、二才共江被給

候事、

一をとり狂言之稽古、いまた僅之日数ニ而候処、面白

見物いたし、出精之体相見得、二才共江致褒美

候事、

一廿八日、宜寿次親方本立寺御招三付、私も囲碁共ニ而

緩々御咄いたし候事、

一次男浦崎筑登之親雲上も罷出、本立寺与碁打候処、

後いし咄つゝ候事

一廿八日、宜寿次親方本立寺御招三付、私も囲碁共ニ而

後いし咄つゝ候事

甲寅、因之ぬかひ三番御勝被成候事、

一私も本立寺と三番打、二番まけ一番勝候事、

一御馳走、昼間さうふる煮物小平相付、晩手引

一ツの料理出候事、

一宜寿次親方も当時当迫之時分二而、昼間者私る

引請、まんてう御馳走いたし候思二而候処、其通二而

御挨拶もいたしかたく候付、錢五拾貫文致合力

候事、

一廿九日、来月十二・三日之比、御奉行平田掃部殿下やしき

二而夜御咄招請之考二而、家修補払除等懸り二才共

人数差越、又者右二付をとり狂言共、高原殿内下やしき

借二而、折角をとり狂言稽古いたし候付、見物二

差越候事、

一下やしき家之はなし柱二而三尺廂出候付、結構二

相見得、払除も父瀬底里之子親雲上主取二而庭相広、

物見江も小道共結構二相成候事、

一高原殿内下屋敷差越候処、宜寿次親方・仲村親方

江も追而被罷出、をとり狂言見物いたし候処、

此前者餘程仕組宜敷、もはや御奉行懸御目

候而不苦敷候付、二才共褒美いたし候事、

一双方之二才共為硯水、まんてう取寄馳走いたし

候事、

四番之内三番本立寺御勝被成候事、

一私も本立寺と三番打、二番まけ一番勝候事、

一御馳走、昼間さうふる煮物小平相付、晩手引

一ツの料理出候事、

一宜寿次親方も当時当迫之時分二而、昼間者私る

引請、まんてう御馳走いたし候思二而候処、其通二而

御挨拶もいたしかたく候付、錢五拾貫文致合力

候事、

一廿九日、来月十二・三日之比、御奉行平田掃部殿下やしき

二而夜御咄招請之考二而、家修補払除等懸り二才共

人数差越、又者右二付をとり狂言共、高原殿内下やしき

借二而、折角をとり狂言稽古いたし候付、見物二

差越候事、

一下やしき家之はなし柱二而三尺廂出候付、結構二

相見得、払除も父瀬底里之子親雲上主取二而庭相広、

物見江も小道共結構二相成候事、

一高原殿内下屋敷差越候処、宜寿次親方・仲村親方

江も追而被罷出、をとり狂言見物いたし候処、

此前者餘程仕組宜敷、もはや御奉行懸御目

候而不苦敷候付、二才共褒美いたし候事、

一双方之二才共為硯水、まんてう取寄馳走いたし

候事、

二月中

- 一 三日前文之通し茶を白下座敷又者嵩原殿内
下屋敷ニ罷越せし相見人相つていふは前
仕組長茶を白下座敷に
- 一 仕徳院萬松院法中長を沙汰せし相見人
茶を白下座敷に
- 一 一ととり相見人数江、ノ物一重・焼酎一瓶進候事、
- 一 長老衆ニも茶々請御馳走いたし候事、
- 一 八日、下屋敷之儀御奉行夜御咄招請前ニ而、此程
嵩元里之子親雲上・父瀬底里之子親雲上主取、二才共相集
折角家修補払除等いたし、もはや大概相調候間、
- 私も罷越致見物候様、親方承候付、宜寿次親方・仲村
親方も相催、同心ニ而罷越致見物候事、
- 一本立寺長老も中途ニ而懸御目候付、誘上御同心
ニ而罷越、囲碁共ニ而緩々御咄いたし候事、
- 一 煖鍋ニツ煮調持越、うさめしニ而御馳走いたし候事、
- 一 嵩元・瀬底其外二才共ニも馳走いたし候事、
- 一家者はなし柱ニ而三尺はじ出、茶之間も三尺はじ
出、惣払除も奇麗ニ相見得、彼是結構罷成候事、
- 一 十二日、本立寺・村吉筑登之親雲上催上、東之於小座囲碁
共ニ而緩々致御咄候事、
- 一 昼間ハ輕キ茶めし御馳走いたし候事、
- 一 申立寺長老も中途ニ而遠るを沙目り誘上座敷
白下座敷圍碁共ニ而後、沙汰つて一ととり
- 一 煖鍋ニツ煮調持越、うさめしニ而御馳走いたし候事、
- 一 嵩元・瀬底其外二才共ニも馳走いたし候事、
- 一家者はなし柱ニ而三尺はじ出、茶之間も三尺はじ
出、惣払除も奇麗ニ相見得、彼是結構罷成候事、
- 一 十二日、本立寺・村吉筑登之親雲上催上、東之於小座圍碁
共ニ而緩々致御咄候事、
- 一 昼間ハ輕キ茶めし御馳走いたし候事、

二月中

- 一 三日、前文之通之次第ニ而、下屋敷又者嵩原殿内
下屋敷ニ罷越、をとり狂言見物いたし候処、此前
仕組宜敷相見得候事、
- 一 伍徳院・万松院・法堂長老御越、をとり狂言御見物
被成候様申上候付、御出被成候事、
- 一 をとり狂言人数江、ノ物一重・焼酎一瓶進候事、
- 一 長老衆ニも茶々請御馳走いたし候事、
- 一 八日、下屋敷之儀御奉行夜御咄招請前ニ而、此程
嵩元里之子親雲上・父瀬底里之子親雲上主取、二才共相集
折角家修補払除等いたし、もはや大概相調候間、
- 私も罷越致見物候様、親方承候付、宜寿次親方・仲村
親方も相催、同心ニ而罷越致見物候事、
- 一本立寺長老も中途ニ而懸御目候付、誘上御同心
ニ而罷越、囲碁共ニ而緩々御咄いたし候事、
- 一 煖鍋ニツ煮調持越、うさめしニ而御馳走いたし候事、
- 一 嵩元・瀬底其外二才共ニも馳走いたし候事、
- 一家者はなし柱ニ而三尺はじ出、茶之間も三尺はじ
出、惣払除も奇麗ニ相見得、彼是結構罷成候事、
- 一 十二日、本立寺・村吉筑登之親雲上催上、東之於小座圍碁
共ニ而緩々致御咄候事、
- 一 昼間ハ輕キ茶めし御馳走いたし候事、

但、碁者三番打三番共まけ、殊之外不出来いたし候、
一同日晚

上様於我謝御氣分御失、御性も御付不被遊段
申来候由承知仕、皆々驚入候処、追々御氣分御快
御成被遊候間、驚入申間敷由申来候段奉承知、
安心仕候事、

一 親方ハ早速登城、御書院江参上、御様体承知
いたし、我謝御殿江参上仕考ニ而致登城候処、右
之段承知いたし、御殿江も参上不仕帰宅いたし候事、

一 かま戸も乗馬ニ而中途迄罷下候処、右之段承知
いたし罷歸候事、

一 十九日、下屋敷ニ差越、本立寺長老催上囲碁共
ニ而緩々御断いたし候事、

一 村吉筑登之親雲上、長老御列立被罷出候事、
一 昼間者まんてう取寄、汁菜相付御馳走いたし
候事、

一 囲碁ハ此比者不出来ニ而、私まけ候処、今日者二番
打二番共勝候事、

一 廿二日、家中人数下屋敷ニ慰ニ罷越、私者罷越不申
さひしく候付、囲碁ニ而慰申思にて、本立寺催上
御出被成候処、内間親方も見廻ニ御出被成候間、囲碁ニ而

一 碁者三番打三番共まけ、殊之外不出来いたし候、
一同日晚
上様於我謝御氣分御失、御性も御付不被遊段
申来候由承知仕、皆々驚入候処、追々御氣分御快
御成被遊候間、驚入申間敷由申来候段奉承知、
安心仕候事、
一 親方ハ早速登城、御書院江参上、御様体承知
いたし、我謝御殿江参上仕考ニ而致登城候処、右
之段承知いたし、御殿江も参上不仕帰宅いたし候事、
一 かま戸も乗馬ニ而中途迄罷下候処、右之段承知
いたし罷歸候事、
一 十九日、下屋敷ニ差越、本立寺長老催上囲碁共
ニ而緩々御断いたし候事、
一 村吉筑登之親雲上、長老御列立被罷出候事、
一 昼間者まんてう取寄、汁菜相付御馳走いたし
候事、
一 囲碁ハ此比者不出来ニ而、私まけ候処、今日者二番
打二番共勝候事、
一 廿二日、家中人数下屋敷ニ慰ニ罷越、私者罷越不申
さひしく候付、囲碁ニ而慰申思にて、本立寺催上
御出被成候処、内間親方も見廻ニ御出被成候間、囲碁ニ而

海沙利のりーり本

一 去る内親方もあはれに海沙利を成り下屋敷

罷越慰る罷候る

一 まんとう取寄汁菜相付、本立寺・内間親方江御

馳走いたし候事

一 廿四日、本立寺江罷出、折節村吉老も被罷出候付、囲碁

二而緩々御嘶いたし候事、

一 昼間ハ茶めし御馳走有之候事、

一 長老碁三番打候処、二番ハ私勝候事、

一 廿六日、下屋敷ニ罷越本立寺・伍徳院招上、囲碁共二而

緩々御嘶いたし候事、

一 村吉筑登之親雲上相招候付、追々被罷出候事、

一 一本立寺与碁打候処、二番共まけ候事、

一 昨晚紙焼二付、餅有合二付砂糖煮二而小平和物

相付、御馳走いたし候事、

一 八ツ時分、親方も和宇慶筑登之親雲上相列屋敷致見物、

暫嘶いたし被罷帰候事、

一 廿九日、本立寺・伍徳院催上、緩々御嘶いたし候事、

一 一本立寺与碁一番打候処、私まけ候事、

一 まんとう取寄、汁菜相付御馳走いたし候事、

一 碁二番打申考二而候処、親方も罷出緩々御嘶いたし、

碁者打不申、酉時分御帰被成候事、

三月

- 一 二日今日を社へ日をもりまゝに便儀候儀と圍碁共
し御馳走し候事
- 一 天王寺も御招いたし候事
- 一 宜寿次親方・仲村親方も被罷出、御馳走致候事、
吸物・焼酎共出、東道盆ニ取肴盛合出し、昼間
ほうく、晚ハ粥・小平・和物共相付御馳走いたし候事、
一 晚者琴歌三味線などさせ、遊興いたし候事、
一 天王寺も、御さんたい之艾餅一重被下候事、
一 宜寿次親方も、入念あんもち作調させ到来、
一 五日、知花物見江罷出、往来之人致見物相慰候事、
一 散砂糖一重七寸・唐茶家一ツ・煎茶々碗一束持參
進候事、
一 茶々請・さうめん之吸物馳走有之候事、
一 六日、本立寺御見廻いたし、村吉老も有合ニ而緩々
御馳いたし、昼めし共御馳走有之、酉頭時分下屋敷ニ
罷越、酉時分者罷歸候事、
一 長老与碁四番打、三番ハ私勝候事、
一 七日、先日玉城按司御出、昨六日御奉行夜御馳招請
之筈ニ而、をとり狂言仕組させ置候間、翌七日二者私・宜寿次
親方・仲村親方罷出見物仕候様被仰聞置候付、今日宜寿次
- 一 宜寿次親方・仲村親方も被罷出、御馳走致候事、
吸物・焼酎共出、東道盆ニ取肴盛合出し、昼間
ほうく、晚ハ粥・小平・和物共相付御馳走いたし候事、
一 晚者琴歌三味線などさせ、遊興いたし候事、
一 天王寺も、御さんたい之艾餅一重被下候事、
一 宜寿次親方も、入念あんもち作調させ到来、
一 五日、知花物見江罷出、往来之人致見物相慰候事、
一 散砂糖一重七寸・唐茶家一ツ・煎茶々碗一束持參
進候事、
一 茶々請・さうめん之吸物馳走有之候事、
一 六日、本立寺御見廻いたし、村吉老も有合ニ而緩々
御馳いたし、昼めし共御馳走有之、酉頭時分下屋敷ニ
罷越、酉時分者罷歸候事、
一 長老与碁四番打、三番ハ私勝候事、
一 七日、先日玉城按司御出、昨六日御奉行夜御馳招請
之筈ニ而、をとり狂言仕組させ置候間、翌七日二者私・宜寿次
親方・仲村親方罷出見物仕候様被仰聞置候付、今日宜寿次

仲村相列致参上候処、段々御馳走、をとり狂言致見物、
夜之九ツ過時分罷帰候事、

一喜屋武親方・山里親雲上・父天願筑登之親雲上も被罷出候事、

一吸物二ツ・焼酎出、按司御取替被成、間之吸物四ツ

五ツ出、晩ハ手引一之料理御馳走有之候事、

一私・宜寿次・仲村左之通進上致持参候事、

散砂糖一重ツ、
右、私カすていら二箱 まんてう二百五十粒

右、宜寿次・仲村カすていら二箱 まんてう二百五十粒

一十五日、美里御殿参上、先日御来駕被下候御礼共
申上、暫御嘶共申上候事、

一御吸物一ツ・まんてう御馳走有之候事、

一御妾之あこしたれ御妾腹之御女子被罷出、始而
逢候事、

一御乳母あこしたれ・比嘉あんしたれも被罷出逢候事、

一右相済、御暇乞三而直三前川江参り、御懐御安否
御尋共申上、左之通銘々江差上候事、

前川親雲上御懐江 □□親雲上夫婦江

黒砂糖一重 扁豆一重 次男前川里之子親雲上江

一吸物一ツ・千餅之菓子・四ツ組之休共馳走有之候事、

一前川里之子親雲上宅江参り様体得与見候処、根気者
此前之通相見得候処、はな口ニきつ毒ハいた相

一前川里参り候事、

一前川里参り候事、

一前川里参り候事、

一前川里参り候事、

仲村相列致参上候処、段々御馳走、をとり狂言致見物、
夜之九ツ過時分罷帰候事、

一喜屋武親方・山里親雲上・父天願筑登之親雲上も被罷出候事、

一吸物二ツ・焼酎出、按司御取替被成、間之吸物四ツ

五ツ出、晩ハ手引一之料理御馳走有之候事、

一私・宜寿次・仲村左之通進上致持参候事、

散砂糖一重ツ、
右、私カすていら二箱 まんてう二百五十粒

右、宜寿次・仲村カすていら二箱 まんてう二百五十粒

一十五日、美里御殿参上、先日御来駕被下候御礼共
申上、暫御嘶共申上候事、

一御吸物一ツ・まんてう御馳走有之候事、

一御妾之あこしたれ御妾腹之御女子被罷出、始而
逢候事、

一御乳母あこしたれ・比嘉あんしたれも被罷出逢候事、

一右相済、御暇乞三而直三前川江参り、御懐御安否
御尋共申上、左之通銘々江差上候事、

前川親雲上御懐江 □□親雲上夫婦江

黒砂糖一重 扁豆一重 次男前川里之子親雲上江

一吸物一ツ・千餅之菓子・四ツ組之休共馳走有之候事、

一前川里之子親雲上宅江参り様体得与見候処、根気者
此前之通相見得候処、はな口ニきつ毒ハいた相

一前川里参り候事、

一前川里参り候事、

一前川里参り候事、

一前川里参り候事、

御前より先夫一氣湯藥種相求差遣申考候間、
随分入念相用可申由申付候事、

一 廿七日、今日吉日ニ而候間、一氣湯用始可申由差遣、
さんきら一斤錢三拾貫文差遣候事、

但、藥種ハ相求次第差遣可申由、申遣候事、

一 十八日、伍徳院長老御招ニ付、罷出御嘶いたし候事、

一本立寺長老も被招上候処、御不快ニ付而御出無之候、

一本立寺も御快ニ付御出無之、さひしく体候処、知花

親方被相招候付、父天願里之子親雲上知花江有合ニ而

相列被罷出候付、緩々御嘶いたし候事、

一 吸物ニツ、糝共御馳走有之候事、

一 今日者御祭之日ニ而女子共罷出、且玻名城親雲上

女孫も、仲井真里之子親雲上内儀相列罷出候間、早々罷帰

候様家内差遣候付、其由申断酉時分ハ罷帰候事、

一 同日、今日御祭ニ付、上原按司御室も罷出候付、新里

親雲上室此内不快有之由承候付、病体如何候哉与相尋

候処、此前者餘程世話ニ存候処、最早快罷成及世話程

之儀者無之内申候付、私今明日中安否尋向何歟

品物共差遣度存候処、何も相応之品無之、錢三拾貫文

差遣可申与存合候段申候付、錢差遣候ハ、自分好之物

買入給、別而悦可申候、明日者自分も見廻ニ参り申考

候間、持せ候而罷出、私心入之段も可申達由申候付、左候ハ、

御前より先夫一氣湯藥種相求差遣申考候間、
随分入念相用可申由申付候事、

一 廿七日、今日吉日ニ而候間、一氣湯用始可申由差遣、
さんきら一斤錢三拾貫文差遣候事、

但、藥種ハ相求次第差遣可申由、申遣候事、

一 十八日、伍徳院長老御招ニ付、罷出御嘶いたし候事、

一本立寺長老も被招上候処、御不快ニ付而御出無之候、

一本立寺も御快ニ付御出無之、さひしく体候処、知花

親方被相招候付、父天願里之子親雲上知花江有合ニ而

相列被罷出候付、緩々御嘶いたし候事、

一 吸物ニツ、糝共御馳走有之候事、

一 今日者御祭之日ニ而女子共罷出、且玻名城親雲上

女孫も、仲井真里之子親雲上内儀相列罷出候間、早々罷帰

候様家内差遣候付、其由申断酉時分ハ罷帰候事、

一 同日、今日御祭ニ付、上原按司御室も罷出候付、新里

親雲上室此内不快有之由承候付、病体如何候哉与相尋

候処、此前者餘程世話ニ存候処、最早快罷成及世話程

之儀者無之内申候付、私今明日中安否尋向何歟

品物共差遣度存候処、何も相応之品無之、錢三拾貫文

差遣可申与存合候段申候付、錢差遣候ハ、自分好之物

買入給、別而悦可申候、明日者自分も見廻ニ参り申考

候間、持せ候而罷出、私心入之段も可申達由申候付、左候ハ、

別而仕合候間、輕少なから志迄差遣候段申達くり候様
相達、錢相渡候事、

一 同日伍徳院本の罷歸、玻名城親雲上女孫見候処、別而嚴重

之生付ニ而生質も宜敷相見得候付、弥惠樽与縁込
可然由いづれも相談之上相決、来ル廿日吉日ニ而候間、此方

差遣候様申談候事、

一 廿一日、知花親方本立寺・伍徳院長老衆・私被相招候付、

八ツ時分罷出緩々御漸いたし、入相時分罷歸候事、

一 吸物二ツ・きんひん之菓子・諸白・取肴坏出、昼間

まんてう汁菜相付、晩麦めし汁菜相付、御馳走

有之候事、

一 月湛長老本与基三番打候処、不出来ニ而三番共まけ

り候事、

一 父天願里之子親雲上も被罷出候事、

一 廿三日、本立寺長老本御招有之、九ツ時分罷出緩々

御漸、西半時分罷歸候事、

一 伍徳院・父天願里之子親雲上も被罷出候事、

一 葛餅鉢ニ盛出、吸物・焼酎共出、昼間料理さう

めん、晩四ツ組之夜めし共御馳走有之候事、

一 月湛長老本与基四番打候処、二番ツ、勝候事、

一 廿九日、下屋敷ニ本立寺・天王寺・伍徳院長老衆招請、

基共打緩々御漸いたし候事、

一 宜壽次親方・仲村親方・悴親方・次男浦崎筑登之親雲上被罷出候事、

一 大宜味親方も与風相催候処、被罷出久々ニ緩々相談候事、

一 焼酎・肴・東道盆出、間之吸物四ツ、昼間まんでう、はん四ツ組之休共御馳走いたし候事、

一 きんひん之菓子立菓子皿ニ盛合出候事、

一 琴歌三味せんも二才共江いたさせ、座興いたさせ候事、

四月中

一 朔日奥濱親雲上妻御焼香罷出承候者、自分家内も

当分当迫之体ニ候処、嘉陽家内之儀地頭所作得も順々

不相納、極々及困窮毎日の飯料も不相続体ニ候、彼

家内も飢ニ不及様取計得不申候而不叶、極々差迫申

候間、錢五百貫文者私内証物を借いたし度由承候事、

一 私内証之儀、庫理方江預置候処、庫理方も当分不有合由申出、追々伊江島を取納いたし候錢有之候間、相納次第借相渡可申由、翌二日山城里之子親雲上差遣候処、山城罷帰承候者、右之趣忝存候得共、右借錢之儀得与相考候処、先当分ハ借錢無二段々操作を以相濟候次第、家内人数申談置候間、其段此方江も差遣せ候考候処、入念早々差遣別而忝由厚礼謝承候事、

一 朔日奥濱親雲上妻御焼香罷出承候者、自分家内も

当分当迫之体ニ候処、嘉陽家内之儀地頭所作得も順々

不相納、極々及困窮毎日の飯料も不相続体ニ候、彼

家内も飢ニ不及様取計得不申候而不叶、極々差迫申

候間、錢五百貫文者私内証物を借いたし度由承候事、

一 私内証之儀、庫理方江預置候処、庫理方も当分不有合由申出、追々伊江島を取納いたし候錢有之候間、相納次第借相渡可申由、翌二日山城里之子親雲上差遣候処、山城罷帰承候者、右之趣忝存候得共、右借錢之儀得与相考候処、先当分ハ借錢無二段々操作を以相濟候次第、家内人数申談置候間、其段此方江も差遣せ候考候処、入念早々差遣別而忝由厚礼謝承候事、

一 朔日奥濱親雲上妻御焼香罷出承候者、自分家内も

当分当迫之体ニ候処、嘉陽家内之儀地頭所作得も順々

不相納、極々及困窮毎日の飯料も不相続体ニ候、彼

家内も飢ニ不及様取計得不申候而不叶、極々差迫申

候間、錢五百貫文者私内証物を借いたし度由承候事、

一 私内証之儀、庫理方江預置候処、庫理方も当分不有合由申出、追々伊江島を取納いたし候錢有之候間、相納次第借相渡可申由、翌二日山城里之子親雲上差遣候処、山城罷帰承候者、右之趣忝存候得共、右借錢之儀得与相考候処、先当分ハ借錢無二段々操作を以相濟候次第、家内人数申談置候間、其段此方江も差遣せ候考候処、入念早々差遣別而忝由厚礼謝承候事、

松原江御同道ニ罷出候申度由、兼而被仰聞趣有之、
 今日八ツ頭時分伍徳院江罷出、御同道ニ而松原江罷出
 相慰、折節天界寺長老も御出、餘り風立候間御寺江
 罷出、緩々御嘶被成度由御催有之、皆々御同心ニ而
 御寺江罷出緩々御嘶いたし、夜入候而罷歸候事、
 一御吸物二ツ出、昼間者料理さうめん、晩者茶めし御馳走
 有之候事、

一私も松原ニ而披申考ニ而、弁当ニメ物色々、手作之諸白
 仕合持参いたし候処、御寺江参上いたし候付、長老江
 致進覽候事、

一伊良波親雲上も被罷出、且孫次郎・樽・山戸も相列

罷出候付、御寺江も召列参上、私共同前之御馳走有之、
 召列候真境名子供三人江も御馳走有之由候付、翌日山城
 里之子親雲上を以御礼申上候事、

一十三日、本立寺江御見廻いたし、高原殿内下屋敷ニ而二才共
 躍狂言稽古いたし候付、御同心ニ而罷出見物いたし度旨
 催上、罷越見物いたし、晩者家内人数下屋敷ニ罷越候付、
 私も参候趣長老江も申上候付、長老者直御歸、私者下屋敷ニ
 参相慰、夜之五ツ過時分罷歸候事、

一まんてう百五十、親方高高原殿内下屋敷ニ差遣
 候付、月湛長老・浜川親雲上・豊村親雲上御馳走いたし、
 をとり人数江も馳走いたし候事、

一十音歌方、於下屋敷、侍より平田掃部殿候
 法彩招請、諸事左条之通段々御取持、御緩々被成
 御座、夜之八ツ過時分御帰被成候事、

一附役赤崎源助殿・書役折田甚六殿・御用達鳥丸
 孫一殿・山下正助殿、但正助殿者彼是御肝煎頼上候事、
 一才共をとり狂言仕組させ、懸御目候事、

一御料理二三ツ組・間之御吸物十・間之御菓子二・御後段迄
 差上候事、

一進物左之通差上候事、
 御奉行
 把子一反 花氈毯一枚 弁当一堆錦之重箱
 島袖上布二反、満扣白縮緬一疋
役々衆并正助殿江
 一洪扇子一箱ツ、島袖一反ツ、
十七姉(細)
 一与力共被召出御盃被下、をとり二才共ニも御盃被成下、
 楊木さし一ツ、被成下候由、
不快御殿乞
 一御相伴山下正助殿、伊舎堂親方・座喜味親雲上
 一御見舞富永親雲上・高安親雲上

一十九日、下屋敷ニ本立寺・弁之嶽・智福院・天王寺・伍
 徳院長老衆招請、囀基杯ニ而緩々御咄、夜之九ツ時分
 御帰被成候事、

一焼酎・肴・東道盆出、吸物四ツ、昼間まんでう、晚
 四ツ組之夜食御馳走いたし候事、
 但、まんでうハ金城筑登之親雲上扶持之初到来ニ付、是ニ而

一焼酎者東道盆出吸物等、まんでう候人
 四ツ組之者余り候事、
 相海へてうハ金城筑登之親雲上扶持候初來候事、

一洪扇子一箱ツ、島袖一反ツ、
 一与力共被召出御盃被下、をとり二才共ニも御盃被成下、
 楊木さし一ツ、被成下候由、
 一御相伴山下正助殿、伊舎堂親方・座喜味親雲上
 一御見舞富永親雲上・高安親雲上

津波をひたりし

一 とも相去るを津波に思ふに似たりと知れし
事なりとていふともう二三度水邊に遊ばせり
とて津波に因りし

一 廿七日日比呂去廿日比呂少々腹之病有之食事も
不相進三付、御医者崎山親雲上相頼服薬いたし候付、
痛相止今日も被罷出被致診脈候処、はらも相廻り脈
体も宜敷、最早服薬三不及由三而、薬一袋被給候、此薬迄三而
相濟候由三而、一袋調合三而被給候事、

一 同日保養之為歩行かてらに、伍徳院御見廻いたし
罷越候内、本立寺長老も御出暫御断共いたし候処、
本立寺長老も、歩行いたし候ハ、保養も罷成筈候間、自分
寺江参り候様被仰聞、御断いたし候得共是非共可参由被仰聞
候付、伍徳院も御同道三而本立寺江参り、囲碁杯三而緩々
御咄、夜入時分罷帰候事、

一 廿八日、本立寺・智福院・天王寺長老招請、東之小座三而囲碁
杯三而緩々御断いたし、夜之四ツ時分御帰被成候事、
一 伍徳院長老も催上候処、御不快御出無之候、
一 昼間まんでう汁菜相付、晩者手引一之夜食、其外
間之吸物四ツ・天水かん立菓子次ニ盛御馳走いたし候事、

一 任徳院も吸物一ツ御馳走有之候事、

一 廿八日中ま智福院長老も去るを招後まき小座三而囲碁
杯も酒も飲りし

一 任徳院長老も催上候所しや候所也

一 至る海へてうけ葉あり候也

御馳走いたし候事、

一 をとり狂言共懸御目候思無之候処、大工廻子躍御
望有之候付、をとり二・三番、永島筑登之江狂言も
させ懸御目候事、

一 廿七日、私事去廿日比呂少々腹之病有之、食事も

不相進三付、御医者崎山親雲上相頼服薬いたし候付、
痛相止今日も被罷出被致診脈候処、はらも相廻り脈
体も宜敷、最早服薬三不及由三而、薬一袋被給候、此薬迄三而
相濟候由三而、一袋調合三而被給候事、

一 同日、保養之為歩行かてらに、伍徳院御見廻いたし
罷越候内、本立寺長老も御出暫御断共いたし候処、
本立寺長老も、歩行いたし候ハ、保養も罷成筈候間、自分

寺江参り候様被仰聞、御断いたし候得共是非共可参由被仰聞
候付、伍徳院も御同道三而本立寺江参り、囲碁杯三而緩々
御咄、夜入時分罷帰候事、

一 伍徳院三而吸物一ツ御馳走有之候事、
一本立寺三而吸物一ツ・四ツ組之夜食御馳走有之候事、

一 廿八日、本立寺・智福院・天王寺長老招請、東之小座三而囲碁
杯三而緩々御断いたし、夜之四ツ時分御帰被成候事、

一 伍徳院長老も催上候処、御不快御出無之候、
一 昼間まんでう汁菜相付、晩者手引一之夜食、其外

間之吸物四ツ・天水かん立菓子次ニ盛御馳走いたし候事、

一 後之家江高元里之子親雲上梅之作花活候付、懸御目候事、

一 廿九日、智福院より御招ニ付、八ツ時分參上、左之通段々御馳走共有之緩々御嘶、夜之五ツ時分罷歸候事、

一 一本立寺月湛長老・天王寺越演長老も被成御出候事、

一 一孫龜・次郎も兼而御呼ニ付、相列罷出候事、

一 一吸物数々出、昼間ハさうめんそば拵ニ而出、手引一ツ之夜食御馳走有之候事、

一 一弁之嶽江いづれも御同心ニ而罷出、相慰候事、

一 但、小重箱四次ニ菓子・メ物共盛合、焼酎共御馳走有之候事、

一 五月中

一 四日、町端村仲村渠方家借いたし、本立寺・天王寺・伍徳院長老催上、御同心ニ而罷出、爬龍舟見物ニ而、右罷歸候諸人又者走馬見物いたし候事、

一 一天界寺長老重箱・焼酎杯御持參、御出被成候事、

一 一宜寿次親方・仲村親方・父天願里之子親雲上茂被罷出候事、

一 五日、天王寺越演長老・山里親雲上・父天願里之子親雲上・嫡子浦崎里之子親雲上、東之座ニ而御嘶いたし候事、

一 一惠樽二十四孝終り、まんでう有合ニ而御馳走いたし候事、

一 六日、天王寺の御招有之參上いたし、囲碁杯ニ而御嘶いたし候事、

一 今日、親方誓詞ニ護国寺江罷出、八ツ時分者親方罷歸

一 後之家江高元里之子親雲上梅之作花活候付、懸御目候事、

一 廿九日、智福院より御招ニ付、八ツ時分參上、左之通段々御馳走共有之緩々御嘶、夜之五ツ時分罷歸候事、

一 一本立寺月湛長老・天王寺越演長老も被成御出候事、

一 一孫龜・次郎も兼而御呼ニ付、相列罷出候事、

一 一吸物数々出、昼間ハさうめんそば拵ニ而出、手引一ツ之夜食御馳走有之候事、

一 一弁之嶽江いづれも御同心ニ而罷出、相慰候事、

一 但、小重箱四次ニ菓子・メ物共盛合、焼酎共御馳走有之候事、

以行酒連のり

一吸物一さうめんを拵り梅白沙汰をすむり

一七日下屋敷より殿前天王寺催上圍碁杯と海沙汰

りつゝ一を半時分御婦被成候事

一本立寺・村吉里之子親雲上も御招いたし候処、本立寺ハ那覇

御下、村吉者不快之由ニ而、不被罷出候事、

一まんてう汁菜相付御馳走いたし候事、

一天王寺与碁六番打、四番者私勝候事、

一九日、月湛長老催上、東之小座ニ而緩々御咄いたし候事、

一山里親雲上見廻、甘菊之花一包持參被給候付、唐

扇子一本・和扇子一本進候事、

一於大和狂言かたり共稽古いたし候金城筑登之与申者、

親方上国之時叮嚀ニいたしたる者ニ而、私も逢可申由、

親方承、始而对顔松竹梅之かたり共承候事、

但、於大和諷狂言共稽古いたし候者者、右功勞ニ而御扶持所

被仰付候例ニ而、此節願居候間、奥平親方江内意いたし

度旨、承候事、

一唐さうめん・きひ・葛砂糖煮ニ而致御馳走候事、

一十一日、勝連按司姉真加戸事、古謝按司御えん組いたし、

折角婚礼之取仕出仕候処、去年十月饒波按司加那志

御卒去付而者、婚礼も御三年忌相濟候而仕筈候処、

御殿之儀、内原江者御女性御一人も不被成御座、如何

候付、酒迎いたし候付、其由長老江申上罷歸候事、

一吸物一さうめんそば拵ニ而、御馳走有之候事、

一七日、下屋敷江罷越、天王寺催上圍碁杯ニ而緩々御噺

いたし、西半時分御婦被成候事、

一本立寺・村吉里之子親雲上も御招いたし候処、本立寺ハ那覇

御下、村吉者不快之由ニ而、不被罷出候事、

一まんてう汁菜相付御馳走いたし候事、

一天王寺与碁六番打、四番者私勝候事、

一九日、月湛長老催上、東之小座ニ而緩々御咄いたし候事、

一山里親雲上見廻、甘菊之花一包持參被給候付、唐

扇子一本・和扇子一本進候事、

一於大和狂言かたり共稽古いたし候金城筑登之与申者、

親方上国之時叮嚀ニいたしたる者ニ而、私も逢可申由、

親方承、始而对顔松竹梅之かたり共承候事、

但、於大和諷狂言共稽古いたし候者者、右功勞ニ而御扶持所

被仰付候例ニ而、此節願居候間、奥平親方江内意いたし

度旨、承候事、

一唐さうめん・きひ・葛砂糖煮ニ而致御馳走候事、

一十一日、勝連按司姉真加戸事、古謝按司御えん組いたし、

折角婚礼之取仕出仕候処、去年十月饒波按司加那志

御卒去付而者、婚礼も御三年忌相濟候而仕筈候処、

御殿之儀、内原江者御女性御一人も不被成御座、如何

一

儀三而、服制見合候処、廿日以上之忌ニ相係り賀礼
止置候内者婚禮召止、然ながら早々婚禮不仕候而不叶
訳共有之候ハ、祝儀も輕くいたし婚禮之規式
取行候而可相済由相見得候付、仲村親方相列御殿江
參上、王子様江右之趣御相談仕候処、其通御同意ニ被
思召候得共、古謝按司并里之子事何ぞ御呵被成たる事も
無之候処、去二月比おいつ方江にき隠居候哉、親之前ニ罷出
御世話ニ被思召候、然者室相求候而も右体之仕向ニ而者室も
安心無之、親之方ニ罷帰筈与被思召候間、按司も先非悔知、
親子之和談無之内者、室相求させ候儀不罷成筈与被
思召由被仰下、是者御尤之儀与私も奉存候間、御子様
方江随分御相談いたし、此中之御仕向者御断を以、御
親子御和睦被成、猶又御婚禮之儀者御相談申上
候様可仕由、申上罷帰候事、

方江随分御相談いたし、此中之御仕向者御断を以、御
親子御和睦被成、猶又御婚禮之儀者御相談申上
候様可仕由、申上罷帰候事、

一十三日古謝按司者上間江御隱被居候由承、知花
親方私ニ而真境名子差遣、肝要成御相談申上度儀
有之候間、知花宅江御出被成候様申上させ、真境名罷
帰承候者、何村何某宿江御隱被居由承、右宿尋參り、
村吉子御取次、知花・私兩人使ニ罷越候間、懸御目度由申上
させ候処、村吉罷出御他出ニ而右之趣不申上由承候事、
一真境名申候者、按司様実者内江被成御座候処、御他出
之由申候者偽之様ニ相見得候由、

之由申候者偽之様ニ相見得候由、

一 十四日知花親方は遠出せり老衆前訪り按司母

具志川内儀上内儀私宅江罷出候付、右一件相談いたし

り沙江御習具志川里之子親雲上者按司御徒、其上按司別而

沙江御習具志川里之子親雲上者按司御徒、其上按司別而

り沙江御習具志川里之子親雲上者按司御徒、其上按司別而

作代之内儀は遠出せり具志川に罷相入候而者何様

一 知花は具志川内儀上内儀私宅江罷出候付、右一件相談いたし

御出候付、右一件此間御相談之趣、親方私に委細具志川

相達、御太儀ながら御方二而御落着被成候様被申上、

御誘引二而知花江御出被成候様御取計被成度

旨、相頼候事、

一 酉過時分、知花親方被罷出被申候者、具志川里之子親雲上

只今被罷帰被申候者、古謝按司御隠被成候宿尋行

候処、按司者いつ方江御出被成候哉、御行衛も存不申由

申候付、委細供江申置候間、明日罷越御同道二而知花江

罷出候由、

一 十八日、下屋敷三罷越、本立寺・伍徳院長老衆招上、囲碁杯

二而緩々御晰いたし候事、

一 波嘉敷里之子親雲上を差出候、御国元御当地二而砂糖支配方

負荷取立杯之帳見届候事、

一 長老江まんてう取寄、汁菜相付御馳走いたし候事、

一 十八日、

一 十四日、知花親方被罷出承候者、夜前勝連按司母・

具志川里之子親雲上内儀私宅江罷出候付、右一件相談いたし

候処、御近習具志川里之子親雲上者按司御徒、其上按司別而

御叮嚀被成事候間、具志川に按司御相談いたし

候ハ、則御出被成筈之由候間、具志川相招頼入候而者何様

候哉与承候付、弥可然候間、具志川可被相招由相答候事、

一 知花は具志川里之子親雲上被罷出候間、私も罷出候様承候付、則

罷出、右一件此間御相談之趣、親方私に委細具志川

相達、御太儀ながら御方二而御落着被成候様被申上、

御誘引二而知花江御出被成候様御取計被成度

旨、相頼候事、

一 酉過時分、知花親方被罷出被申候者、具志川里之子親雲上

只今被罷帰被申候者、古謝按司御隠被成候宿尋行

候処、按司者いつ方江御出被成候哉、御行衛も存不申由

申候付、委細供江申置候間、明日罷越御同道二而知花江

罷出候由、

一 十八日、下屋敷三罷越、本立寺・伍徳院長老衆招上、囲碁杯

二而緩々御晰いたし候事、

一 波嘉敷里之子親雲上を差出候、御国元御当地二而砂糖支配方

負荷取立杯之帳見届候事、

一 長老江まんてう取寄、汁菜相付御馳走いたし候事、

一 十八日、

依敷按司加那志様讀谷山間切江御光越被遊、撰政・三司

官・義村王子・宜野灣王子・茂御越被成候由承知仕候、

一廿日、豊見城按司手登根里之子親雲上御使を以被仰聞

候者、今日御近習具志川里之子親雲上罷出申候者、一昨日

依敷按司加那志様讀谷山間切江被遊御越、

上様御逢被為遊段々御相談被遊候付、伊平屋島江

御光越之思召御取止被遊候半、此内者御乗船江

御乗付被遊候処、御屋取江御下り被遊候由、具志川

被聞召候、私共ニも世話ニ奉存筈与御推察、此段被仰聞由

致承知、御察之通親方も為申越も無之、別而世話ニ

奉存候処、被入御念手登根御使忝奉存候由、御返詞いたし候事、

一親方も十八日ニ読谷山間切江差越候付、安否尋入用

之品共取集、下人比嘉四ツ時分間切江差遣候処、いまた

不罷歸候事、

一夜前久米島江立火有之、渡名喜島・慶良間・座間味

間切・渡嘉敷間切請次、渡嘉敷々飛脚を以申出ル模候処、

座間味間切請次候時分ニ者夜明候付、座間味間切

漕舟を以親見世江首尾申出候付、問役召列此方江も

首尾申出、且右之趣早々親方江可申越由、小祿殿内も

被仰聞、夜入候而奥間里之子親雲上江申含差遣候事、

但、宜寿次馬借ニ而奥間江乗せ候事、

一廿一日、親方御用筋有之、読谷山御殿江参上いたし候処、

依敷按司加那志様讀谷山間切江御光越被遊、撰政・三司

官・義村王子・宜野灣王子・茂御越被成候由承知仕候、

一廿日、豊見城按司手登根里之子親雲上御使を以被仰聞

候者、今日御近習具志川里之子親雲上罷出申候者、一昨日

依敷按司加那志様讀谷山間切江被遊御越、

上様御逢被為遊段々御相談被遊候付、伊平屋島江

御光越之思召御取止被遊候半、此内者御乗船江

御乗付被遊候処、御屋取江御下り被遊候由、具志川

被聞召候、私共ニも世話ニ奉存筈与御推察、此段被仰聞由

致承知、御察之通親方も為申越も無之、別而世話ニ

奉存候処、被入御念手登根御使忝奉存候由、御返詞いたし候事、

一親方も十八日ニ読谷山間切江差越候付、安否尋入用

之品共取集、下人比嘉四ツ時分間切江差遣候処、いまた

不罷歸候事、

一夜前久米島江立火有之、渡名喜島・慶良間・座間味

間切・渡嘉敷間切請次、渡嘉敷々飛脚を以申出ル模候処、

座間味間切請次候時分ニ者夜明候付、座間味間切

漕舟を以親見世江首尾申出候付、問役召列此方江も

首尾申出、且右之趣早々親方江可申越由、小祿殿内も

被仰聞、夜入候而奥間里之子親雲上江申含差遣候事、

但、宜寿次馬借ニ而奥間江乗せ候事、

一廿一日、親方御用筋有之、読谷山御殿江参上いたし候処、

入るも取次知仕候者

上様より御近習頭慶世村親より汗使より取作下若

は依伊平屋島江御光越被遊 思召御座候

依按司加那志様より段々御相談之趣御承知被遊、右之

汗企御取止被遊由、御意被成下候段承知仕、難有次第

奉存候事、

一廿二日、東之小座江天王寺・伍徳院・知花親方招上、囲碁杯

二而緩々御咄いたし候事、

一本立寺も催上候処、大和人御出有之筈三而御待被成候間、

早々相濟候ハ、御出被成候由、御返答有之候処、御出無之候、

仲村親方者相招候付被罷出候、

一吸物三ツ・焼酎共出、ふうく御馳走いたし候事、

一廿三日、下屋敷ニ罷越すら天王寺江罷出、長老与碁二番

打、吸物一ツ御馳走暫御咄いたし、下屋敷差越論語経

典余師見候而、酉過時分帰宅、

但、長老与碁二番打、一番ツ、勝候事、

一廿四日、帰唐船相見得候由承、見物二下屋敷江罷越候処、はや入津

不相見得候付、本立寺ニ罷出囲碁杯三而緩々御咄いたし、

酉過時分罷帰候事、

一古御用達鳥丸孫一殿御出、始而懸御目御咄いたし

候事、

一伍徳院長老も御出、父天願里之子親雲上も下屋敷ニ被罷出

り、

別中道より山列候事

一 料理さうめん御馳走有之候事

一 明日ハ有合之御人数私宅江御出、作り花懸御目緩々

御咄いたし候様、致御約束候事、

一 廿五日、床ニ活候作花可被成御詠覽由ニ而、本立寺・天王寺

招上、囲碁杯ニ而緩々御断いたし候事、

一 智福院・伍徳院長老も催上候処、無抛御用事有之

由ニ而、御出不被成候事、

一 吸物三ツ・さうふる汁菜相付、御馳走いたし候事、

一 知花親方・父天願里之子親雲上も被罷出、御断被致候、

一 同日、御近習具志川里之子親雲上御入来被申候者、古謝按司

知花江御出之儀折角御相談仕候処、私共心入之儀別而

忝被思召、早々御出被成筈候処、御殿御内証向之儀ニ付而、得与

御考不被成候而不叶儀有之候間、来月五・六日程御出被成思召候間、

其内者具志川ニ而私・知花江も宜相心得申達置度由被仰候由、承候事、

一 廿七日、本立寺長老ヲ御使を以、今日於識名馬場国学

人数馬勝負有之由被聞召候間、私も隙ニ而罷居候ハ、御

同道ニ而罷越見物被成度由被仰聞候付、是者別而仕合ニ

存申候間、追々御寺江参上御同道ニ而罷越可申由、御

返詞いたし、八ツ時分御寺江罷出、御同心ニ而罷越見物

いたし候事、

一 和久水風呂ニきんひん一重・ノ物一重、中飯弁当

持越候事、

持越候事

梅

- 一 梅入右菓子杯買入させ、いつれも江御馳走いたし候、浦添若按司・今帰仁御殿まつかね見物ニ御出被成候付、私共かりや江招上、菓子杯御馳走いたし候事、一酉時分者猶又本立寺江罷出、伍徳院も御出囲碁杯ニ而緩々御咄いたし、夜入候而罷帰候事、但、夜めし共御馳走有之候事、

六月中

- 一 二日中夜更、屋敷月港を招上海へ渡り候事、
- 一 天王寺・伍徳院も催上候処、御他出又ハ御取込有之由ニ而、御出無之、
- 一 一暮三番打、二番者私勝候事、
- 一 まんとう御馳走いたし候事、
- 一 一六日、仲村渠筑登之親雲上宅江家中人数相列罷出、勅書御行列拝見いたし候事、
- 一 一戻りニいつれも相列国学所江参上、拝見いたし候事、

- 一 一七日、私・宜寿次親方・仲村親方三人ニ而、山下正助殿下屋敷ニ御餞別招請いたし、諸事左条之通御取持、夜之九ツ時分迄緩々御啣いたし候事、
- 一 一御相伴月港長老・武島親雲上御頼いたし候事、

一 江戸・後江・吸物・三献・上・私・宜寿次・仲村御取替
いたし、料理二三ツ組・間之吸物・間之菓子・後段迄、膳
賦之通御馳走いたし候、

一 手渡進覽左之通 一 二才共江琴歌三味せん共仕させ候事、

一 唐扇子一箱 鳥絀一反 紺島絀上布一反

一 唐扇子一箱 煎茶々わん一束 絀はせを布一反

一 唐扇子一箱 煎茶々わん一束 芭蕉布一反

一 八日、正助殿御出、昨日之御礼共被仰聞候事、

一新御奉行島津十太右衛門殿を被召呼被仰下

候者、いづれも存知之通、御五男川久保市十郎殿

御列下被成候処、市十郎事體体身弱有之、御世話

被思召御考被成候処、前伊江親方長命果報之

人と被聞召候間、とふか市十郎養父相頼あやからし

度被思召候間、自分三而右之趣相頼、若親方辞退共

被致事候ハ、是非共請合候様可頼入由被仰聞候、右通

無抛御願之事情間、とふか致御請度由被申聞候、

右通無存懸御頼、何様御返詞申上可然哉与、親方

江も申談候処、御子市十郎御身弱有之、御世話二

被思召、私長命果報を御あやからし度与之思召

無抛御頼之事情間、是非共御請不仕候而不叶

儀与相決、正助殿江御返詞之趣者、拙者長命果報

御取持、御子様御養父御頼之趣委細承知仕、

一 江戸・後江・吸物・三献・上・私・宜寿次・仲村御取替
いたし、料理二三ツ組・間之吸物・間之菓子・後段迄、膳
賦之通御馳走いたし候、

一 手渡進覽左之通 一 二才共江琴歌三味せん共仕させ候事、

一 唐扇子一箱 鳥絀一反 紺島絀上布一反

一 唐扇子一箱 煎茶々わん一束 絀はせを布一反

一 唐扇子一箱 煎茶々わん一束 芭蕉布一反

一 八日、正助殿御出、昨日之御礼共被仰聞候事、

一新御奉行島津十太右衛門殿を被召呼被仰下

候者、いづれも存知之通、御五男川久保市十郎殿

御列下被成候処、市十郎事體体身弱有之、御世話

被思召御考被成候処、前伊江親方長命果報之

人と被聞召候間、とふか市十郎養父相頼あやからし

度被思召候間、自分三而右之趣相頼、若親方辞退共

被致事候ハ、是非共請合候様可頼入由被仰聞候、右通

無抛御願之事情間、とふか致御請度由被申聞候、

右通無存懸御頼、何様御返詞申上可然哉与、親方

江も申談候処、御子市十郎御身弱有之、御世話二

被思召、私長命果報を御あやからし度与之思召

無抛御頼之事情間、是非共御請不仕候而不叶

儀与相決、正助殿江御返詞之趣者、拙者長命果報

御取持、御子様御養父御頼之趣委細承知仕、

一 江戸・後江・吸物・三献・上・私・宜寿次・仲村御取替
いたし、料理二三ツ組・間之吸物・間之菓子・後段迄、膳
賦之通御馳走いたし候、

一 本庭御用細小し、御用別命書も御用細小し、と云ふは、候
白正御用上度由、申上候事、

一 九月廿五、西平親雲上御用ニ被罷出候付、別而仕合ニ存、右
次第委細ニ相語り、尤右ニ付而者市十郎殿吃与招請不仕
候而不叶事候処、親方も当分御用繁多有之、且庭も
取あらし置候付而者、近日中ニ格立招請者不相調候、
乍然始而御対顔益取替迄之規式者、余り延引罷成
候而者如何敷候間、来ル十六日日柄も能候間、御手前ニ而
正助殿江も御内談之上、御飯屋守を以御奉行江茂被
申上、菟角之段被仰遣度頼入候事、

一 十六日、川久保市十郎殿御出被成候付、諸事左条之通
御取持、夜之四ツ過時分御帰被成候事、

一 山下正助殿者八ツ頭時分御出、市十郎殿ハ追々
御出被成候事、

一 一里主西平親雲上も兼而御相伴御頼置候付、早々
被罷出候事、

一 料理ニ三ツ組・間之吸物・間之菓子・盛合菓子都而
膳部之通御馳走いたし候事、

一 但、御みやけニ重箱三組ニ菓子盛もたせ上候事、
一手渡進覽物左之通

一 唐扇子一箱 鏡櫛箱一 紬一反 紺地細上布一反 福祿
寿之字三枚

一 扇子一箱 鏡櫛箱一 紬一反 紺地細上布一反 福祿
寿之字三枚

一 唐扇子一箱 鏡櫛箱一 紬一反 紺地細上布一反 福祿
寿之字三枚

至私も冥加之次第、別而忝奉存御請申上候間、貴様
二而宜被仰上度由、申上候事、

一 九日、里主西平親雲上御用ニ被罷出候付、別而仕合ニ存、右

次第委細ニ相語り、尤右ニ付而者市十郎殿吃与招請不仕

候而不叶事候処、親方も当分御用繁多有之、且庭も

取あらし置候付而者、近日中ニ格立招請者不相調候、

乍然始而御対顔益取替迄之規式者、余り延引罷成

候而者如何敷候間、来ル十六日日柄も能候間、御手前ニ而

正助殿江も御内談之上、御飯屋守を以御奉行江茂被

申上、菟角之段被仰遣度頼入候事、

一 十六日、川久保市十郎殿御出被成候付、諸事左条之通

御取持、夜之四ツ過時分御帰被成候事、

一 山下正助殿者八ツ頭時分御出、市十郎殿ハ追々

御出被成候事、

一 一里主西平親雲上も兼而御相伴御頼置候付、早々

被罷出候事、

一 料理ニ三ツ組・間之吸物・間之菓子・盛合菓子都而

膳部之通御馳走いたし候事、

但、御みやけニ重箱三組ニ菓子盛もたせ上候事、

一手渡進覽物左之通

唐扇子一箱 鏡櫛箱一 紬一反 紺地細上布一反 福祿

寿之字三枚

右市十郎殿

一唐扇子一箱・紺地細上布一反・福寿之字一枚

右正助殿

一和扇子一箱・白麻一束・福寿之字一枚

右御飯屋守謝花筑登之親雲上江

一福寿之字一枚

右西平親雲上江

一琴三味せんをとり狂言共させ、懸御目候事、

一御親父・御奉行様・市十郎殿を昆布一折・諸白

一樽ツ、被下置候事、

一正助殿を孫共江くり可申由二而品々被下、御心入

も海り

一十七日古汗行沙系船出帆

但山下正助殿も御乗合之由

一十八日去日嘉陽弟天亡いたし候処、奥浜見廻不致、

且富盛親雲上内儀産後病氣いたし及せ話候処、

見廻不致候付、今日右両所致見廻、酉時分罷帰候事、

但、右両所吸物共出暫物語いたし、奥浜を桑之

手掛一枚相讓候事、

一廿四日下屋敷二月湛長老招上、緩々御嘶いたし候事、

一伍徳院も催上候処、御不快之由御出無之、知花親方

相催候事、

右、市十郎殿江

一唐扇子一箱・紺地細上布一反・福寿之字一枚

右、正助殿江

一和扇子一箱・白麻一束・福寿之字一枚

右、御飯屋守謝花筑登之親雲上江

一福寿之字一枚

右、西平親雲上江

一琴三味せんをとり狂言共させ、懸御目候事、

一御親父・御奉行様・市十郎殿を昆布一折・諸白

一樽ツ、被下置候事、

一正助殿を孫共江くり可申由二而品々被下、御心入

忝存候事、

一十七日、古御奉行御乗船御出帆、

但、山下正助殿も御乗合之由、

一十八日、去日嘉陽弟天亡いたし候処、奥浜見廻不致、

且富盛親雲上内儀産後病氣いたし及せ話候処、

見廻不致候付、今日右両所致見廻、酉時分罷帰候事、

但、右両所吸物共出暫物語いたし、奥浜を桑之

手掛一枚相讓候事、

一廿四日、下屋敷二月湛長老招上、緩々御嘶いたし候事、

一伍徳院も催上候処、御不快之由御出無之、知花親方

相催候事、

一 昼間者唐さうめん砂糖煮ニ而御馳走、晩者輕キ夜飯
差上、夜四ツ時分罷歸候事、

嘉慶二十年丙子

閏六月中

一 川久保市十郎殿暑氣

御尋申上、左之通差上候事、

一 松風花ふうろ一籠

一口上書相調差上申答候処、私事隠居老体之事候間、御仮屋

守謝花筑登之親雲上ニ而宜申上差上度由、兼而相頼候事、

一 五日、先日小祿親方市十郎愚筆御所望ニ付、書認差上候処、

右為御礼小祿親方八ツ後御出被成候付、親方より一刻者

御入被成候様、段々御挨拶申上候処、今日者御気色あしく暫

御出為被成由ニ而、直ニ御歸被成候事、

嘉慶二十年丙子

閏六月中

一 二日、御奉行島津十左衛門様御子、川久保市十郎殿暑氣

御尋申上、左之通差上候事、

一 かつ寺二箱 一 松風花ふうろ一籠

一口上書相調差上申答候処、私事隠居老体之事候間、御仮屋

守謝花筑登之親雲上ニ而宜申上差上度由、兼而相頼候事、

一 五日、先日小祿親方市十郎愚筆御所望ニ付、書認差上候処、

右為御礼小祿親方八ツ後御出被成候付、親方より一刻者

御入被成候様、段々御挨拶申上候処、今日者御気色あしく暫

御出為被成由ニ而、直ニ御歸被成候事、

一 真玉橋親雲上、富永親雲上も先日愚筆相讓候、右為私御出被成候

八月廿一日

うく天王寺梅庵長老より御招有之、参上いたし候処、御吸物
数々・手引巻ツ之料理共御馳走有之、緩々御咄、入相時分
罷歸候事、

一 智福院・知花親方・伊良波親雲上・次男浦崎筑登之親雲上被罷出
候事、

一天王寺住持寺被仰付始而参上いたし候付、扇子一箱入進覽
いたし、西瓜二粒も到来有之候付、持参進候事、

同日、先日隱廊長老天界寺住持寺被仰付、使を以者早々
祝詞申上候へ共、今日参上を以祝詞申上、三本人扇子一箱持参致
進覽候事、

但、隱居所江御越為被成由二而、不懸御目候事、

一 七日、早朝月湛長老御出被仰聞候者、此前被仰聞候通、
壺屋大見謝筑登之昨日罷出、来ル十日壺屋かま明候処、
色々之焼物出来見物二而候間、御越被成候而者如何候哉申候、
私隙二而候ハ、御同道二而罷越致見物、大見謝家者別而景色宜敷
候間、立寄名所見物いたし相慰申度由、被仰聞候付、弥私も
隙三而候間、御同道罷越可申由、御約束いたし候事、

十日、月湛長老・知花親方御同道二而壺屋江罷越、焼物主取
鳥袋筑登之親雲上宅江罷出、色々之焼物作立致見物、大見謝宅江
罷出、前之物見二而海山之景色見物いたし、私持参いたし候弁当
相開、何れ江馳走いたし、本宅江罷歸候付、吸物数々・湯取餅杯

一 十日、月湛長老・知花親方御同道二而壺屋江罷越、焼物主取
鳥袋筑登之親雲上宅江罷出、色々之焼物作立致見物、大見謝宅江
罷出、前之物見二而海山之景色見物いたし、私持参いたし候弁当
相開、何れ江馳走いたし、本宅江罷歸候付、吸物数々・湯取餅杯

与、私も掛御目候事、

一 六日、天王寺梅庵長老より御招有之、参上いたし候処、御吸物
数々・手引巻ツ之料理共御馳走有之、緩々御咄、入相時分
罷歸候事、

一 智福院・知花親方・伊良波親雲上・次男浦崎筑登之親雲上被罷出
候事、

候事、

一天王寺住持寺被仰付始而参上いたし候付、扇子一箱入進覽

いたし、西瓜二粒も到来有之候付、持参進候事、

同日、先日隱廊長老天界寺住持寺被仰付、使を以者早々

祝詞申上候へ共、今日参上を以祝詞申上、三本人扇子一箱持参致
進覽候事、

但、隱居所江御越為被成由二而、不懸御目候事、

一 七日、早朝月湛長老御出被仰聞候者、此前被仰聞候通、

壺屋大見謝筑登之昨日罷出、来ル十日壺屋かま明候処、

色々之焼物出来見物二而候間、御越被成候而者如何候哉申候、

私隙二而候ハ、御同道二而罷越致見物、大見謝家者別而景色宜敷

候間、立寄名所見物いたし相慰申度由、被仰聞候付、弥私も

隙三而候間、御同道罷越可申由、御約束いたし候事、

十日、月湛長老・知花親方御同道二而壺屋江罷越、焼物主取

鳥袋筑登之親雲上宅江罷出、色々之焼物作立致見物、大見謝宅江

罷出、前之物見二而海山之景色見物いたし、私持参いたし候弁当

相開、何れ江馳走いたし、本宅江罷歸候付、吸物数々・湯取餅杯

相開、何れ江馳走いたし、本宅江罷歸候付、吸物数々・湯取餅杯

謝花親方・月湛長老・私・知花親方御招有之候、

一 謝花宅江罷出候付、吸物数々、昼間合餅小平相附、晚手引

壺之休杯馳走有之、左之通手渡杯色々被給、心入

之儀忝存候事、

私江上々
一 洪扇子二本 一 石之盆壺 一 ちんきら布壺反

一 和扇子二本 一 揚木差壺 一 唐大筆二本

一 葛布手懸一筋 一 帶地壺筋

一 福祿寿三歌一首完書調、謝花親雲上・大見謝筑登之親雲上江相進

候事、

但、月湛長老・知花親方・山城里之子親雲上江も品物被進候由

一 十二日、知花親方より円覚寺越演長老・天王寺梅庵長老・

私・父天願里之子親雲上被相招、八ツ時分罷出候処、吸物数々、

昼間まんと、晚麦飯・手引一之料理共馳走有之、緩々御咄いたし

夜入候而、罷歸候事、

又六月
一 十三日、円覚寺越演長老、孫共相列参上仕候様兼而被仰聞、

八ツ時分参上いたし候処、御吸物数々、昼間素めん蕎麦拵、

晚手引壺之料理御馳走有之、緩々御咄いたし、夜入候而

罷歸候事、

一 智福院長老・月湛長老・私・知花親方御招有之候、

但、孫龜・次郎も呼せ可申由被仰聞、罷出候事、

一 翌十四日、大工廻子を以御礼申上候事、

一 十五日、先日小祿親方より、親方ニ付而愚筆御望之由被仰聞

寶珠湯湯方と云ふ一平二流三流四流五流六流七流八流九流十流十一流十二流十三流十四流十五流十六流十七流十八流十九流二十流二十一流二十二流二十三流二十四流二十五流二十六流二十七流二十八流二十九流三十流三十一流三十二流三十三流三十四流三十五流三十六流三十七流三十八流三十九流四十流四十一流四十二流四十三流四十四流四十五流四十六流四十七流四十八流四十九流五十流五十一流五十二流五十三流五十四流五十五流五十六流五十七流五十八流五十九流六十流六十一流六十二流六十三流六十四流六十五流六十六流六十七流六十八流六十九流七十流七十一流七十二流七十三流七十四流七十五流七十六流七十七流七十八流七十九流八十流八十一流八十二流八十三流八十四流八十五流八十六流八十七流八十八流八十九流九十流九十一流九十二流九十三流九十四流九十五流九十六流九十七流九十八流九十九流百流

任移りて二り但し新法をまじりて

一 ちうの湯湯方と云ふ一平二流三流四流五流六流七流八流九流十流十一流十二流十三流十四流十五流十六流十七流十八流十九流二十流三十一流三十二流三十三流三十四流三十五流三十六流三十七流三十八流三十九流四十流四十一流四十二流四十三流四十四流四十五流四十六流四十七流四十八流四十九流五十流五十一流五十二流五十三流五十四流五十五流五十六流五十七流五十八流五十九流六十流六十一流六十二流六十三流六十四流六十五流六十六流六十七流六十八流六十九流七十流七十一流七十二流七十三流七十四流七十五流七十六流七十七流七十八流七十九流八十流八十一流八十二流八十三流八十四流八十五流八十六流八十七流八十八流八十九流九十流九十一流九十二流九十三流九十四流九十五流九十六流九十七流九十八流九十九流百流

一 乳母其外供之者江も、千餅之菓子・素めん之吸物再進二而

一 富盛より料理素めん一重到来二付、私・親方・真鶴の酒代

一 包完・昆布一折差遣候事、

一 廿四日、本立寺致御見廻、碁二・三番打候而下屋敷江罷越候

考三而出立、本立寺江罷出候処、御他行之砌二而直三下屋敷江

罷越居候処、折付御帰、御寺江罷出候様被仰聞候付、御寺へ

罷出、囲碁共二而緩々御断、夜入候而罷帰候事、

一下屋敷二罷居候内、浜元筑登之親雲上罷出候付、本立寺江同心

二而罷出候事、

一 長老与碁二番打候処、二番共まけ候事、

一 私昼間休メ者合餅相調差遣可申由申付置候処、本立寺へ

罷出候付、御寺江取寄何れも江も差上給候事、

一 西瓜・昼飯共結構二御馳走有之候事、

一 廿六日、本立寺催上、囲碁共二而緩々御咄共いたし候思□使上

候付、九ツ時分御出被成候処、碁三番打御咄いたし候処、本上原

候付、福祿寿之字歌一首完書調差上候処、表具等結構二

被仰付、今日御披被成候由二而、親方・内間親方・奥平親方様

御招御参会為被成由、

但、私江も二ツ組之料理被送下候事、

一 廿三日、富盛親雲上女子かしら撫二罷出候付、諸事例之通取持候事、

翁長親雲上亡室七日之弔二而、御出不被成候而不叶由被仰聞
候付、左候ハ、御弔相濟次第猶又御出被成度由、御約束いたし
長々御出無之候付、御弔相濟候ハ、早々御出被成度由、嵩元
子差遣候処、翁長者今日七日二而も無之、御出無之由承、氣任二存
候事、
西子
七月申

朔日、福祿寿三歌一首完真似合紙三書調、御物城謝花親雲上、
通堂我謝筑登之親雲上江、山城里之子親雲上使を以致進覽候事、
一謝花親雲上者、去月十日壺屋見物ニ罷下、大見謝筑登之親雲上
者謝花親雲上宅江被相招、段々預取持、大見謝より愚筆懇望之段
兼而承、福祿寿二枚持下候処、謝花も望之段被申聞、一枚
進候処、別而鹿抹二而、今日本文之通取替進候事、
但、謝花者先日進候等者持登申答候処、是も是非共もらへ
候由二而、不被相渡候由、

一去四月廿日頃、孫次郎・樽・惠樽江卓相仕立くり申考二而、板
求方相働させ候処、求置不申、右我謝筑登之親雲上江右之段相達候処、
杉七分板一間致持合候間、是二而用立候ハ、持登可申由被申、則
被相渡候、
尤、別用事二而候ハ、代錢差替相談申答候処、孫共卓調方与
承候間、代錢二不及相讓申由被申、別而厚心入之程忝次第二而、
右御礼之心入二而、前文之通愚筆進候事、
二三日、御物城謝花親雲上、一昨日愚筆進候御礼ニ被罷出候付、
菓子・吸物共御馳走、暫御咄いたし候事、

一朔日、福祿寿三歌一首完真似合紙三書調、御物城謝花親雲上、
通堂我謝筑登之親雲上江、山城里之子親雲上使を以致進覽候事、
一謝花親雲上者、去月十日壺屋見物ニ罷下、大見謝筑登之親雲上
者謝花親雲上宅江被相招、段々預取持、大見謝より愚筆懇望之段
兼而承、福祿寿二枚持下候処、謝花も望之段被申聞、一枚
進候処、別而鹿抹二而、今日本文之通取替進候事、
但、謝花者先日進候等者持登申答候処、是も是非共もらへ
候由二而、不被相渡候由、

一去四月廿日頃、孫次郎・樽・惠樽江卓相仕立くり申考二而、板
求方相働させ候処、求置不申、右我謝筑登之親雲上江右之段相達候処、
杉七分板一間致持合候間、是二而用立候ハ、持登可申由被申、則
被相渡候、
尤、別用事二而候ハ、代錢差替相談申答候処、孫共卓調方与
承候間、代錢二不及相讓申由被申、別而厚心入之程忝次第二而、
右御礼之心入二而、前文之通愚筆進候事、
二三日、御物城謝花親雲上、一昨日愚筆進候御礼ニ被罷出候付、
菓子・吸物共御馳走、暫御咄いたし候事、

一朔日、福祿寿三歌一首完真似合紙三書調、御物城謝花親雲上、
通堂我謝筑登之親雲上江、山城里之子親雲上使を以致進覽候事、
一謝花親雲上者、去月十日壺屋見物ニ罷下、大見謝筑登之親雲上
者謝花親雲上宅江被相招、段々預取持、大見謝より愚筆懇望之段
兼而承、福祿寿二枚持下候処、謝花も望之段被申聞、一枚
進候処、別而鹿抹二而、今日本文之通取替進候事、
但、謝花者先日進候等者持登申答候処、是も是非共もらへ
候由二而、不被相渡候由、

一去四月廿日頃、孫次郎・樽・惠樽江卓相仕立くり申考二而、板
求方相働させ候処、求置不申、右我謝筑登之親雲上江右之段相達候処、
杉七分板一間致持合候間、是二而用立候ハ、持登可申由被申、則
被相渡候、
尤、別用事二而候ハ、代錢差替相談申答候処、孫共卓調方与
承候間、代錢二不及相讓申由被申、別而厚心入之程忝次第二而、
右御礼之心入二而、前文之通愚筆進候事、
二三日、御物城謝花親雲上、一昨日愚筆進候御礼ニ被罷出候付、
菓子・吸物共御馳走、暫御咄いたし候事、

一朔日、福祿寿三歌一首完真似合紙三書調、御物城謝花親雲上、
通堂我謝筑登之親雲上江、山城里之子親雲上使を以致進覽候事、
一謝花親雲上者、去月十日壺屋見物ニ罷下、大見謝筑登之親雲上
者謝花親雲上宅江被相招、段々預取持、大見謝より愚筆懇望之段
兼而承、福祿寿二枚持下候処、謝花も望之段被申聞、一枚
進候処、別而鹿抹二而、今日本文之通取替進候事、
但、謝花者先日進候等者持登申答候処、是も是非共もらへ
候由二而、不被相渡候由、

一去四月廿日頃、孫次郎・樽・惠樽江卓相仕立くり申考二而、板
求方相働させ候処、求置不申、右我謝筑登之親雲上江右之段相達候処、
杉七分板一間致持合候間、是二而用立候ハ、持登可申由被申、則
被相渡候、
尤、別用事二而候ハ、代錢差替相談申答候処、孫共卓調方与
承候間、代錢二不及相讓申由被申、別而厚心入之程忝次第二而、
右御礼之心入二而、前文之通愚筆進候事、
二三日、御物城謝花親雲上、一昨日愚筆進候御礼ニ被罷出候付、
菓子・吸物共御馳走、暫御咄いたし候事、

一朔日、福祿寿三歌一首完真似合紙三書調、御物城謝花親雲上、
通堂我謝筑登之親雲上江、山城里之子親雲上使を以致進覽候事、
一謝花親雲上者、去月十日壺屋見物ニ罷下、大見謝筑登之親雲上
者謝花親雲上宅江被相招、段々預取持、大見謝より愚筆懇望之段
兼而承、福祿寿二枚持下候処、謝花も望之段被申聞、一枚
進候処、別而鹿抹二而、今日本文之通取替進候事、
但、謝花者先日進候等者持登申答候処、是も是非共もらへ
候由二而、不被相渡候由、

一 謝花親雲上事、去月十日壺屋見物ニ罷下候時、御宅江被召呼、段々預馳走、重き手渡共被給候、且其以後ニも折々心入之品々被給候付、以後見廻ニ被罷出候節、何歟心入之品進度含居候処、今日被罷出候付、親方ニも相談を以、当役首尾能被相仕舞候ハ、申口座御位被成下積ニ而、用得懸之黄地之はずむたら大帯一筋進候付、厚御礼共被申聞候事、

一 正月三日
 一 七月八日
 一 同廿八日
 一 八月朔日
 一 十二月三日

承祖伊江親方御室
 三代前伊江親方室
 同人娘思戸金
 二代伊江親方御室
 承祖伊江親方御四女

百御年回
 五十年回忌
 二十五年回忌
 三十二年回忌
 三十二年回忌
 三十二年回忌

一 右通当年年回忌有之候付、弔方之儀何様有之可然哉、
 宜寿次親方・仲村親方相招、私・親方ニ而致相談、左之通相決候事、

一 祖母様百年御回忌・故先室五十年回忌ハ、来ル八月八日をり
 八合餅一對・メ物一對相備、御焼香仕可然相決候事、
 一 亡母様・叔母様・娘思戸御年回忌者、来ル八月朔日、亡母様三十二年御回忌之時可然与相考候処、親方
 孔子御祭ニ付勤有之、其外諸事差支之儀共有之、来ル十二月日柄見合、右御三人之御弔仕可然与、相決候事、

一六日、

野高按司加那志様御儀、当三月比より豊見城御殿江被遊
御座候処、未御機嫌伺も不申上候付、今日あんしたれ使を以
奉伺御機嫌、左之通進上仕候、

一 柏寺之御菓子二箱八寸五分重箱二入、白唐紙ニ朱紙押御辻
うそへ候事、

一 右御機嫌伺之儀、兼而私・親方ニ而豊見城里之子相招相談
いたし候処、弥奉伺御機嫌御菓子進上仕可然候、御菓子ハ
ちんすかう・かすていら・きいるんかう三品之内相調差上可然由、

豊見城申候付、柏寺之御菓子相調差上候事、
七月六日
一同日、勝連按司事、此間二三三日小便つまりニ而及世話候由承、今日
見廻罷出相尋候処、去三日・四日小便不相通及世話候処、栗国
里之子親雲上相頼致服薬候付、最早順ニ相通安穩仕候由、

一 按司より、菜園ニ出来候由ニ而珍敷南瓜一ツ、且蒲戸・真鶴
兩人ニ而冬瓜二粒完、相讓候事、

一 物見ニ罷出、人之往来共見物いたし、酉時分罷帰候事、
一 八日、祖父様御先室当正月三日百年御回忌、今日私先室
五十年回忌弔之儀、兼而相談之通彼是左条之通執行
いたし候事、

一 御霊前御盛物八合餅一对・メ物一对・御霊供壹对、
御焼香いたし候人数銘々御菓子差上候付、皆々供台ニ
相備へ、御紙一对あふり候事、

一 御焼香人数上下屋敷中惣人数・知念之御前・知花

野高按司加那志様御儀、当三月比より豊見城御殿江被遊
御座候処、未御機嫌伺も不申上候付、今日あんしたれ使を以
奉伺御機嫌、左之通進上仕候、

一 柏寺之御菓子二箱八寸五分重箱二入、白唐紙ニ朱紙押御辻
うそへ候事、

一 右御機嫌伺之儀、兼而私・親方ニ而豊見城里之子相招相談
いたし候処、弥奉伺御機嫌御菓子進上仕可然候、御菓子ハ
ちんすかう・かすていら・きいるんかう三品之内相調差上可然由、

此の御前女子五人・豊見城親雲上内儀

一 晩者手引一ツ之料理馳走いたし候事、

一 九日、下屋敷ニ罷越系図致披見、酉時分ハ帰りかけ知花物見罷出、人通見物いたし、入相時分帰宅仕候、

一 菓子有合ニ付取寄、家内人数江進候事、

一 まんとう油あけニ而吸物いたし、馳走有之候事、

一 十七日、五徳院長老御出被仰聞候者、今晩赤田村似念仏行烈ニ而へもん之辺罷通候由被聞召候間、隙ニ而候ハ、七ツ時分

寺江可罷出候、左候ハ、同心ニ而罷出致見物度由被仰聞候付、弥御同心ニ而罷出見物いたし候様、致御約束候事、

一 七ツ時分ニ者孫共相列、五徳院江罷出候付、ふうくなど御馳走有之、晩者御同心ニ而罷出、行列致見物候事、

一本寺之門ニ而見物いたし、私共江見せ申心入ニ而鐘長刀弥彌二才躍共いたし候付、焼酎二沸差遣候事、

一 十九日、故松一周忌相用候事、

一 石嶺墓所江餅一重・メ物一重、女共差遣、紙焼・焼香させ候事、

一 御霊前下檀之正面ニ位牌札相直、甘物・メ物盛合

一 一重相手向、家内人数致焼香候事、

一 廿五日、下屋敷ニ罷越、老人玉元里之子親雲上・伊良波親雲上相招、左之通御馳走、緩々御咄いたし候事、

一 相伴者父天願里之子親雲上相頼候事、

一 菓子ありし水合相付、晩栗飯小平相付、軽キ茶
めし馳走いたし候事

一 焼酎・取肴も勝手次第上り可申由ニ而、差出候事、

一 廿八日、去五月以来雨ふり不申、世上驚人候処、今日昼時分
雨相応ニふり、同日夜之九ツ時分大雨ふり候付、世上喜悅不斜
候事、

一 廿九日、伊良波親雲上・次男浦崎筑登之親雲上相招、困甚いたし
候処、月湛長老御出被成候付、仕合之御見舞ニ而、緩々致御啣
候事、

一 廿八日、女子故思戸二十五年回忌相当候処、弔者来ル十二月迄
延申筋、兼而相談仕置候付、今日者霊供相手向、晩者紙焼・
焼香いたし候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

八月申

一 朔日、亡母様三十三年御回忌相当候処、御弔者前文之通之
相談ニ而、今日者御霊供差上、晩者餅巻重・御ノ物巻重御餅、
御紙焼、何れも御焼香仕候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 上下屋敷中又々女子共菓子持参、焼香被致
候事、

一 御燒香ニ罷出候人数、晩者輕キ夜飯致馳走候事、
 二日、上原按司御室事、去五日比より左之かいな強相痛、泊
 医者金城筑登之親雲上相招、療治方御頼被成候処、通風之類ニ而
 可有之由ニ而、煎薬共相用候付、痛少々快相成候へ共、いまた
 寸切与快無之由承、今日致見廻相尋候処、余程痛快罷成、
 夫丈ケ気分も快罷成、食事も相進給候由承、安心いたし候、
 一 錢式拾貫文輕少なから、何歟好之物買入給可申由申達、相讓候、
 一 与那城按司様当分御忌中ニ而、左之通差上候処、心入
 之程別而忝由、厚御礼被仰聞候、
 一 唐茶一包 一和茶一包 (ママ) 桔餅
 天門漬・姜か漬七寸重ニ入付
 一 右相濟、御暇乞ニ而罷出、本立寺御見廻いたし候処、御吸物
 御馳走暫御咄いたし、下屋敷ニ罷越、酉過時分罷帰候事、
 一 三日、伊良波親雲上相招、囲碁などニ而咄申候処、老人玉元里之
 子親雲上も此前之礼ニ被罷出候付、暫咄共いたし菓子・粥共御馳
 走いたし、知花物見江罷出、人通見物いたし、小雨ふり候付本
 座三移、緩々致御断候事、
 一 知花より、さうめん之吸物・まんとう之吸物など馳走
 有之候事、
 一 父天願里之子親雲上も被罷出候事、
 一 五日、五徳院長老・伊良波親雲上招上、緩々致御咄候事、
 一 昼間ふうく御馳走いたし候事、
 一 石巻御見廻候事、
 一 伊良波親雲上相招、
 一 知花より、
 一 父天願里之子親雲上招上、
 一 昼間ふうく御馳走いたし候事、

一月湛長老も最前御出被成候処、去方四十九日甲御頼有之、濟次第御出被成由二而御帰被成候付、必御出被成度由、猶又使上ケ候処、いまた注進も無之遅成申筈候間、今日者御暇之由被仰聞候事、

但、右通被仰聞候付、ふうくもたせ上候事、

一伊良波親雲上与碁三番打候処、三番共私勝候事、

一六日、御奉行様、御飯屋守謝花親雲上・足役川平筑登之親雲上御使を以被仰下候者、先日者心入之品々市十郎殿江差上、忝被思召候、市十郎殿直三御出御札被仰聞答候処、当分湿御差発其儀相叶不申候間、御奉行様右御札被仰下由致承知候付、軽キ品々差上候処、被入御念御札被仰下、難有次第奉存候、川平二而宜申上度由、御返詞いたし候、

但、川平江菓子・吸物馳走いたし候事、

一八日、親方乳母米歳、山村にや婚禮、兼本之やま片髪結、三ヶ条之祝儀二付、諸事左条之通取行候事、

一とうかき八十作調させ、はあ前江相渡候付、きづり候而いつれも江差上候事、

但、とうかき江朱墨二而、甲子賀米寿作候与、書候事、

一宜寿次親方・仲村親方始上下屋敷中、又者はあ前子孫・次郎・やま親類相招候事、

一私より錢三拾貫文、庫理方より百貫文、真鶴江相渡、料理素めん、又者右三人親類共江八見合次第、夜飯馳走

一月湛長老も最前御出被成候処、去方四十九日甲御頼有之、濟次第御出被成由二而御帰被成候付、必御出被成度由、猶又使上ケ候処、いまた注進も無之遅成申筈候間、今日者御暇之由被仰聞候事、

但、右通被仰聞候付、ふうくもたせ上候事、

一伊良波親雲上与碁三番打候処、三番共私勝候事、

一六日、御奉行様、御飯屋守謝花親雲上・足役川平筑登之親雲上御使を以被仰下候者、先日者心入之品々市十郎殿江差上、忝被思召候、市十郎殿直三御出御札被仰聞答候処、当分湿御差発其儀相叶不申候間、御奉行様右御札被仰下由致承知候付、軽キ品々差上候処、被入御念御札被仰下、難有次第奉存候、川平二而宜申上度由、御返詞いたし候、

但、川平江菓子・吸物馳走いたし候事、

一八日、親方乳母米歳、山村にや婚禮、兼本之やま片髪結、三ヶ条之祝儀二付、諸事左条之通取行候事、

一とうかき八十作調させ、はあ前江相渡候付、きづり候而いつれも江差上候事、

但、とうかき江朱墨二而、甲子賀米寿作候与、書候事、

一宜寿次親方・仲村親方始上下屋敷中、又者はあ前子孫・次郎・やま親類相招候事、

一私より錢三拾貫文、庫理方より百貫文、真鶴江相渡、料理素めん、又者右三人親類共江八見合次第、夜飯馳走

いし候事

一 方々より到来物有之候付、別冊ニ相記候事、

一 十一日、天氣宜敷肌持も能候付、本立寺月湛和尚・嫡子

浦崎筑登之親雲上御同心ニ而観音堂江罷越、慈眼院大心長老も

被罷出候付、人通見物、又々上之松原江罷登景色相詠、

後者大心長老より寺江罷越候様被仰聞、緩々御咄、夜入候而

罷歸候事、

一 大心長老より吸物一ツ・肴・焼酎共御出、晩者糝共御馳走

有之候事、

一 長老より、以後者保養ニも可被成候間、一ヶ月ニ一度者必罷出

候様、段々御叮嚀成御挨拶共被仰聞候事、

一 長老御事、本より御叮嚀之事ニ而、去六月当住寺

被仰付候付、早速御祝儀罷出申考候処、遠方差越他出

之折共ニ而、逢不申候者別而残念之至候間、先寄申聞次第

罷出度由被仰聞候付、延引いたし候処、今日罷出候付、左之通

持參致進覽候事、

一 扇子三本入一箱くり足 一 さんへん之菓子一重八寸

一 和茶一包 一 唐茶一包

一 同日、御飯屋守川平筑登之親雲上御拜ニ付、大工廻里之子差遣祝儀

申入、左之通致進覽候事、

一 酒代巻包 一 二色むしかう之菓子一重

一 十五日、此内親方、罷下唐人見物いたし候様申越有之、今日

いし候事

いし候事

いし候事

仲村親方・知花親方同道ニ而罷下、浜之辺関番所江唐人
二・三人罷出候付、近く寄合見物いたし、礼儀旁丁嚙有之感心
いたし候事、

一 樋川はんたと言名所江罷登、景色相詠、私致持参候
まんとう共致馳走、相慰候事、

一金島筑登之親雲上より芋ふけあけ、メ物一重持参有之、何れも
給候事、

一 儀間筑登之真黍餅持参有之、是又寄合給候事、

一 唐人より、自分給候はんへん牛肉、孫樽・山戸江くり、
叮嚀成儀感心いたし候、

一 十六日、此程長々之早拔ニ而、世上驚憂候付而者、早々雨乞共
被仰付筈候処、其儀なく及延引候儀、何様之御吟味ニ而候哉
不審ニ存、今日御評定所主取長浜親雲上相招、御延引之次第
相尋候処、此間雨乞之先例相調部差出候様被仰付、則先例
相糺差上候処、何様之御吟味ニ而延引罷成候哉、御吟味之
次第者存不申由被申候付、此前無之程之早拔ニ而、万民之憂
無此上時節ニ候処、何様之御吟味ニ而右通候哉、致承知度候間、
御吟味之次第被聞合内々被申間度相頼候事、

一 私事隠居之身ニ而、右様之儀共不及心配事候へ共、余り長々
之早ニ而世上之驚憂無此上由承及^(いか)たせかたく、求之
内々より御自分迄御頼申事候間、私より右御頼有之候段者
御口外被成間敷由、相達候事、

仲村親方・知花親方同道ニ而罷下、浜之辺関番所江唐人
二・三人罷出候付、近く寄合見物いたし、礼儀旁丁嚙有之感心
いたし候事、
一 樋川はんたと言名所江罷登、景色相詠、私致持参候
まんとう共致馳走、相慰候事、
一金島筑登之親雲上より芋ふけあけ、メ物一重持参有之、何れも
給候事、
一 儀間筑登之真黍餅持参有之、是又寄合給候事、
一 唐人より、自分給候はんへん牛肉、孫樽・山戸江くり、
叮嚀成儀感心いたし候、
一 十六日、此程長々之早拔ニ而、世上驚憂候付而者、早々雨乞共
被仰付筈候処、其儀なく及延引候儀、何様之御吟味ニ而候哉
不審ニ存、今日御評定所主取長浜親雲上相招、御延引之次第
相尋候処、此間雨乞之先例相調部差出候様被仰付、則先例
相糺差上候処、何様之御吟味ニ而延引罷成候哉、御吟味之
次第者存不申由被申候付、此前無之程之早拔ニ而、万民之憂
無此上時節ニ候処、何様之御吟味ニ而右通候哉、致承知度候間、
御吟味之次第被聞合内々被申間度相頼候事、
一 私事隠居之身ニ而、右様之儀共不及心配事候へ共、余り長々
之早ニ而世上之驚憂無此上由承及^(いか)たせかたく、求之
内々より御自分迄御頼申事候間、私より右御頼有之候段者
御口外被成間敷由、相達候事、

一 明日宜野湾王子より御下屋敷江喜屋武按司・宜寿次親方・仲村親方・宜野座親雲上・浜川親雲上御招二付、蕎麦切御馳走被成候間、私江も被下思召候処、蕎麦者禁物も有之事情間、宜寿次より私江相達候様、兼而御与力御使を以宜寿次江被仰聞候付、宜寿次より右之段致承知居候処、昼時分そは切一重汁菜相付被下、御心入別而忝次第二奉存候事、
一 右通被下候付、御客御馳走も可相成与、粕寺二箱
致進上候事、

一 珍敷品二而、本立寺江も小重箱二入致進覽候事、
八月中

一 廿六日、孫共相烈墓見廻いたし候事、

但、きんへん之菓子小重箱二入、茶壺包持参相手向候、
一 廿九日、御奉行島津十右衛門殿・川久保市十郎殿、御
仮屋守川平筑登之親雲上御使を以、忌中安否御尋別紙之通
品物被成下、市十郎殿者今日御見廻被下等之段、川平
承、待上候処、七ツ時分御出被成候付、左之通御取持いたし
候事、
一 御相伴仲村親方、
一 御吸物五ツ・焼酎出、御取替いたし候事、
一 一手引一ツ之茶飯御馳走いたし候事、
一 市十郎殿江申上候者、此間私引入居候付、気分も

一 明日宜野湾王子より御下屋敷江喜屋武按司・宜寿次親方・仲村親方・宜野座親雲上・浜川親雲上御招二付、蕎麦切御馳走被成候間、私江も被下思召候処、蕎麦者禁物も有之事情間、宜寿次より私江相達候様、兼而御与力御使を以宜寿次江被仰聞候付、宜寿次より右之段致承知居候処、昼時分そは切一重汁菜相付被下、御心入別而忝次第二奉存候事、
一 右通被下候付、御客御馳走も可相成与、粕寺二箱
致進上候事、
一 珍敷品二而、本立寺江も小重箱二入致進覽候事、
八月中

何く有るは... 貴様御出被下候付、鬱気を散候様
有之、夫より気分も宜罷成候間、緩々御咄被下候様
御挨拶いたし候処、当分御親父様も泊村江御引越
御詰被成候間、御下りかけ御見廻被成御考二而候間、
此以後猶又御出被成由二而、酉時分御帰被成候事、
丙子
九月中

一 二日、阿蘭陀船漂着ニ付而、段々難有被仰付候付、罷登
上様江御拜申上度由申出之趣有之、王子・按司・親方・十五人
吟味被仰付候処、御当国之儀往昔より唐人折々漂着
有之候処、
上様御目見被仰付候例無之候付而者、願通二者御許容被仰付
かたく儀ニ候、乍然段々難有被仰付候御高恩感心仕、
上様奉拜御礼申上度之存念者、厚心入殊勝之至候間、按司衆
之内一人府官被仰付、唐人対面之上右之次第被申聞候礼
之儀者、府官被申上候様申聞候ハ、落着可致候間、其通被仰付
可然由、御吟味相片付候事、
一 府官者今帰仁按司江被仰付、明日御下し被成筈候、
一 七日、阿蘭陀人乗船二艘出帆いたし候事、
一 十一日、此通奉願候存念二而、左之通願書相調置候処、九月十日
朝より翌十一日迄、昼夜共相応之雨降り、用水無不足一統潤
相成候付、右立願之儀者取止仕候事、

願文
一 上様御目見被仰付候例無之候付而者、願通二者御許容被仰付
かたく儀ニ候、乍然段々難有被仰付候御高恩感心仕、
上様奉拜御礼申上度之存念者、厚心入殊勝之至候間、按司衆
之内一人府官被仰付、唐人対面之上右之次第被申聞候礼
之儀者、府官被申上候様申聞候ハ、落着可致候間、其通被仰付
可然由、御吟味相片付候事、
一 府官者今帰仁按司江被仰付、明日御下し被成筈候、
一 七日、阿蘭陀人乗船二艘出帆いたし候事、
一 十一日、此通奉願候存念二而、左之通願書相調置候処、九月十日
朝より翌十一日迄、昼夜共相応之雨降り、用水無不足一統潤
相成候付、右立願之儀者取止仕候事、

千手觀音御宝前
弁財天女御宝前
立願之時御供物

仙香

御花

御五水

御焼明

結願之時

御茶之子

御燈明

御五水

御花

仙香

御燈明

御茶之子

御五水

御花

仙香

御燈明

御茶之子

御五水

御花

仙香

一仙香

一御花

一御五水

一御焼明

一結願之時

一御茶之子

一御燈明

一御五水

一御花

一仙香

一御燈明

一御茶之子

一御五水

一御花

一仙香

一御燈明

一御茶之子

一御五水

一御花

一仙香

千手觀音御宝前
弁財天女御宝前

立願之時御供物

一仙香

一御花

一御五水

一御焼明

結願之時

一仙香

一御花

一御五水

一御茶之子

一御燈明

右旨趣者謹而奉願候者、今般之儀去六月比より早魃二而

雨降り不申、最早世上之用水相絶苗代田差支、其上

畠方も相乾飯料之から芋虫相付、此涯雨降不申候へ者、

大凶年之積二而、先様及餓死候者も出来可申哉与、世上之

憂無此上由承、及至極驚入候、追々公義向雨乞も被仰付

筈候へ共、昼夜及心配難黙止、兩御宝前様江奉願候、

御仁愛を以早々雨降候様、御聖慮奉仰候、仍願文

如件

九月

前

伊江親方

伊江親方

一 九月十五日、真境名里之子事、此程孫共江学文相教大粧成
 為筋三相成候処、朝・昼間・晩食事ニ致帰宅候付、食事相仕舞
 罷出候迄者、童子共遊ひたハもり手習・学文怠懈いたし、不直
 候間、今日より私・親方兩人ニ而飯米相渡可申旨、惣聞天願里之
 子親雲上江申付候事、

一 手習者此前ニも相頼置候通、識名里之子親雲上ニ而相教度旨、
 今日も識名江相達候事、

一 同廿一日、去十三日庫理方江山鳥入候由申出有之、元興寺江
 渡嘉敷里之子親雲上・那覇高志保筑登之親雲上・大工廻子差遣占と
 せ候処、私始家内人数左之通黒星之者も有之候へ共、夫程星
 あしく無之、真鶴者九月・十一月病気差発候運氣ニ而

候間、立願共いたし相慎候様有之、折節仲村親方も有合ニ而
 何れも打寄致相談候処、右通運氣あしく有之時者、
 立願者勿論困窮之者共相救、陰徳を行候ハ、凶変して
 吉与成候由、書物ニも相見得候由承候付、左之通真鶴江合力
 いたし候間、困窮之者共相救陰徳を施し候様、委曲申達
 候事、

錢百五十拾貫文

同式百五十拾貫文

同百貫文

合五百貫文

前

伊江親方

伊江親方

伊江里之子

伊江親方
 伊江親方
 伊江親方
 伊江親方

伊江親方
 伊江親方
 伊江親方

他石山宮御殿に格護いたし候事

八月廿一日、進貢船兩艘出帆、

石山宮御殿に格護いたし候事、

鯉つくり飼立候相談ニ而、去何日、嫡子天願里之子親雲上・浜元

筑登之親雲上主取ニ而、人夫相集折角出精いたし候間、左之通私

硯水いたし候事、

一 菜飯壹重 一 物一重

右、浜元筑登之親雲上・天願里之子親雲上江、

一 菜めし一重 一 物一重

右、人夫十八人江、

一 廿五日、蒲戸亡室三十五日相弔候事、

一 諸事七日毎之通、

一 読谷山御殿・義村御殿其外方々より御香・御酒代・

御菓子被成下候処、別冊ニ相記候付略ス、

一 義村御殿若按司・宜寿次親方其外親類二才共、

墓焼香ニ御越被成候事、

一 廿八日、豊見城按司をなちやら・豊見城里之子御内儀御出、

御菓子二重御持参、靈前江御手向御焼香被成候事、

一 野高按司加那志様・司雲按司よりも美御機被成下

候付、此間度々美御機被成下難有奉存候、四十九日

相濟参上を以御拝可奉申上候へ共、其内宜被仰付

度旨、御返詞申上候事、

一 湯のつくり候事

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 湯を山御殿・義村御殿に格護いたし候事、

一 御吸物一ツ御馳走仕候事、
丙子
十月十日

一 朔日、東之座江本立寺長老・山里親雲上招上、緩々御咄
いたし候事、

一 宜寿次親方・仲村親方・父天願里之子親雲上も被罷出、
唐大和色々之咄共承、鬱気を散申様有之候事、

一 吸物一ツふうく御馳走いたし候事、

一 十九日酉頭時分、奥浜親雲上宅・富盛親雲上宅致見廻、
夜入候而罷歸候事、

一 奥浜親雲上宅、此内ハ身体腫氣相付、食事
不相進、気分も不宜由承、世話ニ存候処、昨日より

いら部之汁相用、此ニ而相応いたし候半、つかいも宜食事も
相進、気分も宜相成候由承、喜悅いたし候事、

一家内当迫之由ニ而、錢五拾貫文持參相讓候事、
一 富盛親雲上宅江罷出候処、大里按司御祖母茂
御在合ニ而、暫御物語共いたし、左之通取寄進候事、

一 富盛親雲上祖母江胡麻沓重、富盛御母江篇ツ一重、
富盛親雲上江同一重、

一 奥浜・富盛両所共、吸物共馳走有之候事、

一 三十日、喜久里里之子親雲上宅、家内困窮ニ相成日々之飯料も
不相続、衣裳・髪差迄も志ち入、支度も不相調、出勤不被罷成
極迫之体ニ而、此節役願仕度由申出之趣有之、いつれも

一 一日、喜久里里之子親雲上宅、家内困窮ニ相成日々之飯料も
不相続、衣裳・髪差迄も志ち入、支度も不相調、出勤不被罷成
極迫之体ニ而、此節役願仕度由申出之趣有之、いつれも

一 一日、喜久里里之子親雲上宅、家内困窮ニ相成日々之飯料も
不相続、衣裳・髪差迄も志ち入、支度も不相調、出勤不被罷成
極迫之体ニ而、此節役願仕度由申出之趣有之、いつれも

致相談候処、与力三人之内、日帳方勤方之儀御国許御取合ニ相懸、別而肝要成動向ニ而候処、喜久里里之子親雲上外二者、右勤方相授致相応候人体不罷居、且喜久里家之儀由緒も有之事候間、母江左之通相付候ハ、家内も兎哉角取続申答候間、佐久真里之子親雲上江左之賦り書相渡、得与相談させ可然与申談、佐久真里之子親雲上相招、賦り書相渡、今日中喜久里致相談度由、相頼候事、

但、御扶持米

一丈石五斗起

但、飯米故実

一三石八斗八合壹勺式才

依にして拾五俵九升三合四才

内

五俵九升三合七勺四才

拾俵

十一月

一朔日、佐久真里之子親雲上罷出承候者、昨日喜久里相逢、委細

致相談候処、与力三人之内、日帳方勤方之儀御国許

御取合ニ相懸、別而肝要成動向ニ而候処、喜久里里之子親雲上

外二者、右勤方相授致相応候人体不罷居、且喜久里家

之儀由緒も有之事候間、母江左之通相付候ハ、家内も

兎哉角取続申答候間、佐久真里之子親雲上江左之賦り書相渡、

得与相談させ可然与申談、佐久真里之子親雲上相招、賦り書相渡、

今日中喜久里致相談度由、相頼候事、

覚

一米雜石式石五斗起

但、御扶持米

壹ケ月二壹斗式升先、拾壹ケ月半二而

一米壹石五斗起

右同三貫文二而三石七斗五合、升二四貫文考

一同七升四合壹勺式才起

但、飯米故実

一三石八斗八合壹勺式才

依にして拾五俵九升三合四才

内

五俵九升三合七勺四才

拾俵

十一月

一朔日、佐久真里之子親雲上罷出承候者、昨日喜久里相逢、委細

